

令和4年度（2022年度）春学期・秋学期 授業に関する学修状況等の実態調査 最終報告書

筑波大学 教学マネジメント室

2023年7月25日

目次

1	はじめに	1
2	回答率・回答者の属性	3
3	設問別調査結果	8
4	おわりに	36
5	付録 A: 調査票	37
6	付録 B: 単純集計表	66

1 はじめに

本報告書は、令和4年度（2022年度）の春学期及び秋学期に実施した「授業に関する学修状況等の実態調査」（以下、「調査」）の結果を報告するものである。「調査」は、新型コロナウイルス感染症禍のさなかであった2020年度に実施された「オンライン授業に関する学修状況等の実態調査」の後継調査に当たる。

「2022年度春学期及び秋学期に筑波大学による授業を受講した学群生及び大学院生の学修状況等を把握することで、次学期・次年度以降の対策の検討に活用するとともに、対面・オンライン授業を含む本学における教育の改善に資する調査研究に活用する」ことを目的とし、「調査」が企画・実施された。なお、春学期の「調査」結果は、「筑波大学第1回 Institutional Research フォーラム『学生はどのような授業形態を求めているのか？ - 学生とともに今後の大学教育のあり方について考える - 』」で報告されているが、春学期及び秋学期の双方の調査結果がまとまった報告書等は本稿が初となる。

それぞれの調査期間は、次に示すとおりである。

春学期「調査」：令和4年7月12日（火）～令和4年8月10日（水）

秋学期「調査」：令和4年12月14日（水）～令和5年1月20日（金）

「調査」は、春学期及び秋学期とも、調査時点で在籍する全学群生・大学院生（ただし正規生のみ）を対象とした。manaba を使って対象学生にアンケートへの協力を呼びかけ、manaba のアンケート機能を使って記名式で回答する形式を採った。

調査項目は、2020年度に実施した実態調査の項目を一部踏襲しつつ、2022年度に適した設問となるよう改善を行った（調査票そのものの詳細は付録A：調査票を参照）。秋学期に実施した「調査」の設問項目は、同一年度内に2回調査を実施する利点を生かすために春学期と比較可能にしつつ、変化の実感について答えてもらう項目や春学期の「調査」にはなかった通学負担を新設している。

春学期及び秋学期の「調査」結果の概要は以下のとおりである。

■結果の概要（春）

- 学群生の約7割、大学院生の約8割が春 AB の授業の満足度に対して肯定的な回答をした
 - － 学群生は前回調査より25ポイント増加、大学院生も約10ポイント増加
- 学生は対面授業・オンライン授業に対してそれぞれの利点を感じている
 - － 対面授業の利点は友人との情報交換や教員とのコミュニケーション
 - － オンライン授業の利点は自分のペースで学習できるという点
- 授業形態に関して対面のみで行ってほしいという希望者の割合は授業種別によって変わる
 - － 講義中心の大人数授業：約1割（学群・大学院ともに）
 - － 講義中心の少人数授業：約2割（学群・大学院ともに）
 - － ゼミ等議論中心の授業：約5割（学群生）・約3割（大学院生）

■結果の概要（秋）

- 春学期と秋学期の双方にある設問
 - － 受けた授業のなかでの対面授業の割合は増加（設問1）
 - － 次の学期における対面授業の割合についても増えることを希望（設問2）
 - － 対面授業のコマ数は増えている（学群）。オンライン授業（オンデマンド型）のコマ数は減少（学群、大学院）（設問3）
 - － ストレスに感じたことは学群、大学院の双方で減少（設問13）
 - － 授業や学生生活に関する満足度は、学群では双方が増加。筑波キャンパスの大学院では授業と学生生活の双方の満足度には変化がないように見受けられる。東京キャンパスの大学院では授業に関する肯定的回答の割合は減少したが、学生生活の満足度は増加（設問16）
- 新規設問
 - － 学群及び大学院（筑波キャンパス）では対面授業が増えた実感がある（設問17）
 - － 春学期と比べて秋学期は、授業を通した学びが深まった実感がある（設問18）
 - － 通学についての負担は東京キャンパスの大学院の学生が他に比べて負っている。1か月5000円以上を費やす者が44%ほど、1日（片道）で30分以上を費やす者が69%ほどを占めている（設問20）

次節より調査結果の具体を報告する。

2 回答率・回答者の属性

本節では、回答率および回答者の属性について報告する。

2.1 回答率

春学期調査、秋学期調査の回答率を示したものが図1である。学群・大学院を合わせた回答率は、春学期調査が31.6%であったのに対し、秋学期調査は19.3%であった。学群については、春学期調査の回答者は3446人、回答率は35.8%であったのに対し、秋学期調査の回答者は1839人、回答率は19.2%であった。大学院（筑波キャンパス）については、春学期調査の回答者は1569人、回答率は25.7%であったのに対し、秋学期調査の回答者は1154人、回答率は19.2%であった。大学院（東京キャンパス）については、春学期調査の回答者は186人、回答率は24.8%であったのに対し、秋学期調査の回答者は156人、回答率は21.3%であった。秋学期調査の回答率は、春学期調査よりも低下した。

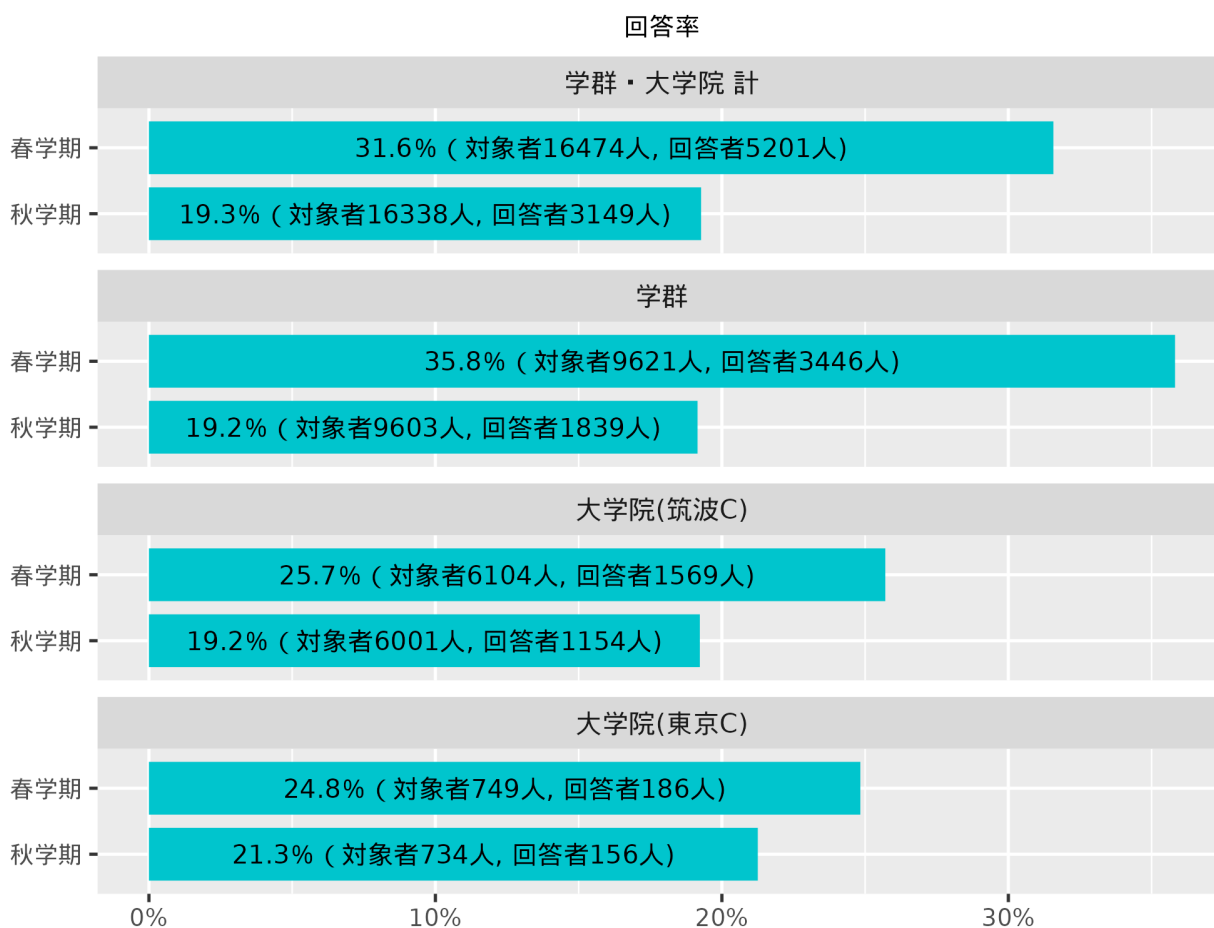


図1: 回答率

図2は、春学期調査・秋学期調査の回答者の重なりを示したものである。

図2の上のグラフは、春学期調査の回答者の内訳を示したものである。学群の回答者3446人のうち、秋学期調査にも回答した者は1348人(39.1%)、秋学期調査に回答しなかった者は2092人(60.7%)であった。大学院の回答者1755人のうち、秋学期調査にも回答した者は813人(46.3%)、秋学期調査に

回答しなかった者は 917 人（52.3%）であった。春学期調査の回答者の過半数が秋学期調査には回答しなかったことがわかる。

図 2 の下のグラフは、秋学期調査の回答者の内訳を示したものである。学群の回答者 1839 人のうち、春学期調査に回答していた者は 1348 人（73.3%）、春学期調査には回答していなかった者は 469 人（25.5%）であった。大学院の回答者 1310 人のうち、春学期調査に回答していた者は 813 人（62.1%）、春学期調査には回答していなかった者は 425 人（32.4%）であった。秋学期調査の回答者の多くは春学期調査にも回答していた学生であることがわかる。

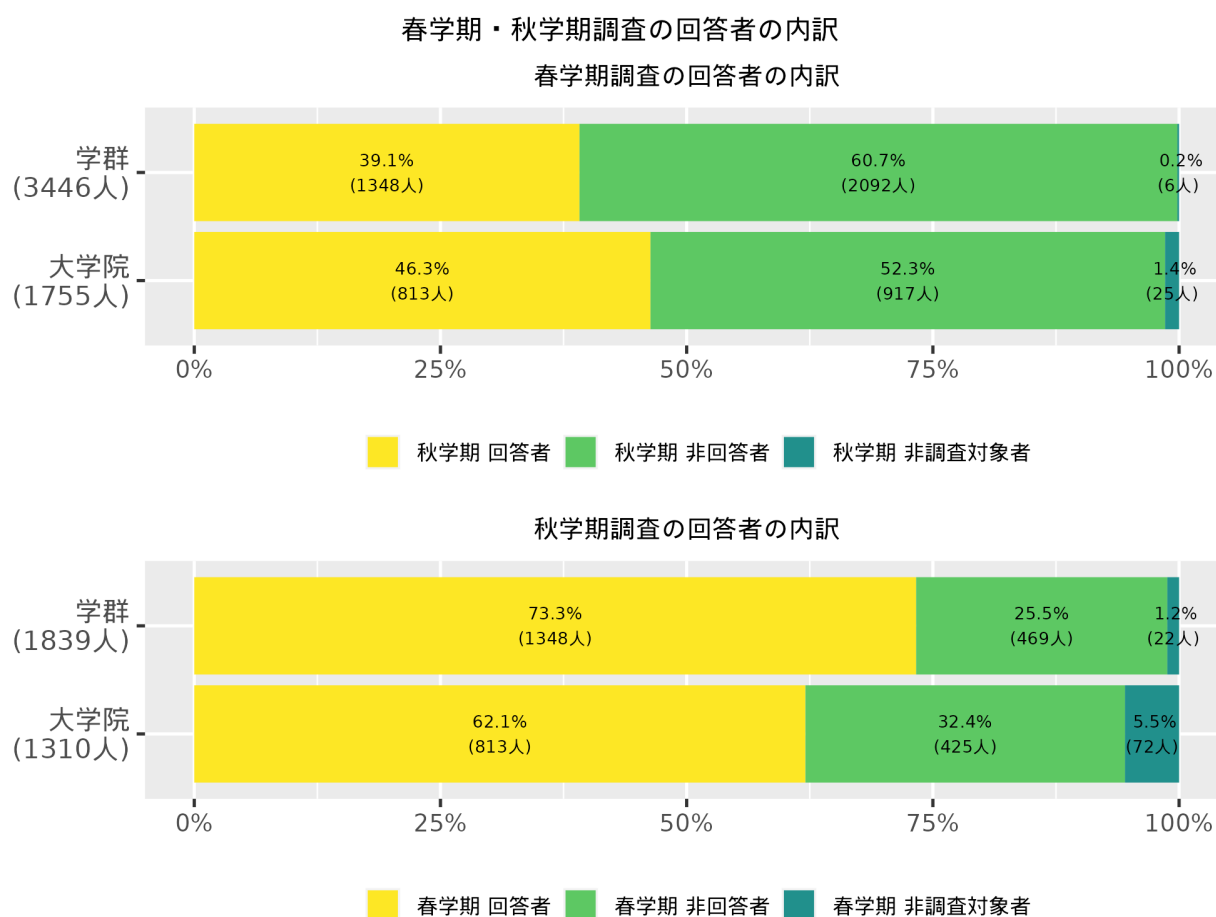


図 2: 春学期調査と秋学期調査の回答者の重なり

2.2 回答者と対象者の所属組織

春学期調査，秋学期調査に回答した学群生の所属組織の割合を調査対象者における所属組織の割合と比較したのが図3である。秋学期調査において理工学群の回答者が若干少ないこと，体育専門学群が若干多めなことを除けば，所属組織の割合に大きな違いは見られず，概ね学群生全体の傾向を反映していることが期待できる。

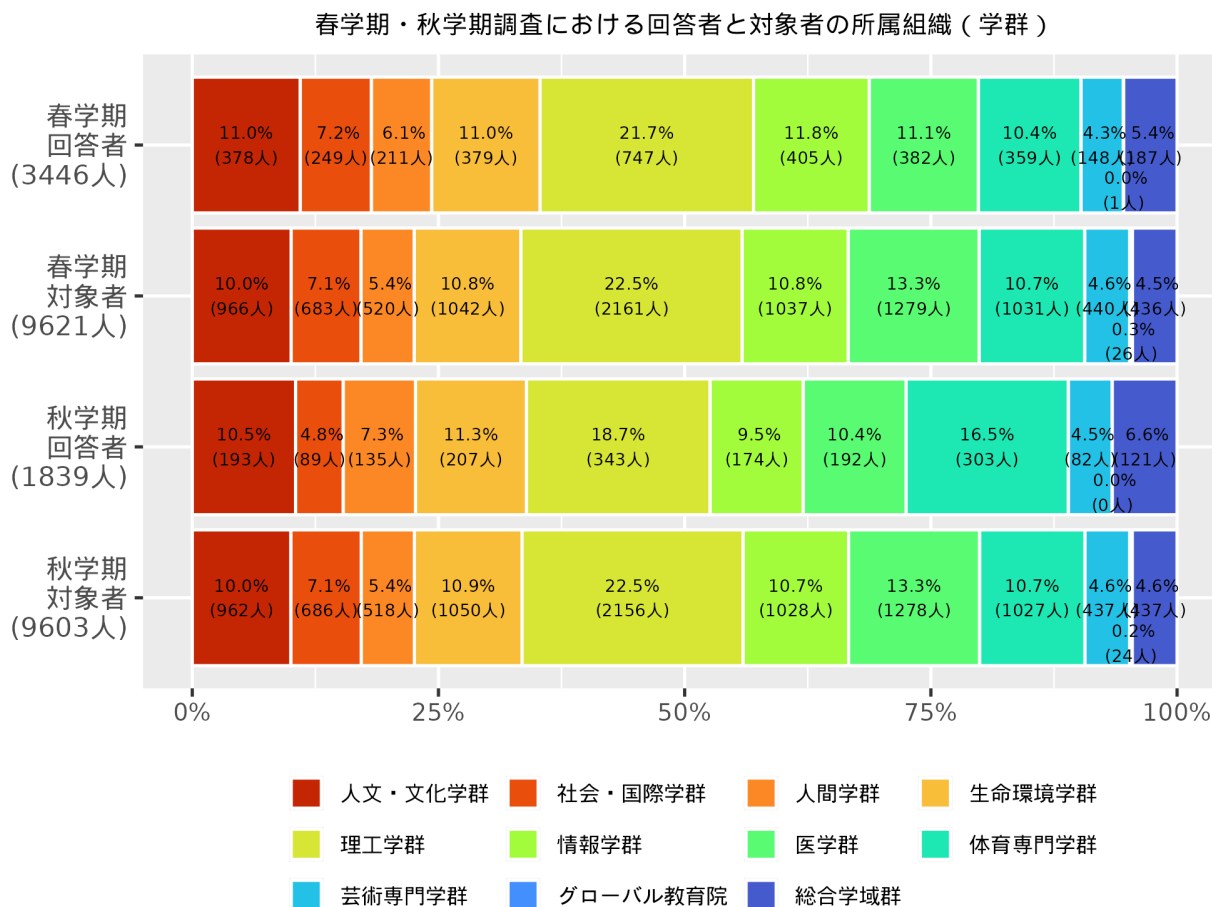


図3: 春学期・秋学期調査における回答者と対象者の所属組織（学群）

学群同様に，大学院においても調査回答者と調査対象者の所属組織の割合を確認したのが図4である。大学院に関しては，新組織及び旧組織を分けることとした。新組織については学群同様に，学術院単位で見れば春学期調査，秋学期調査の回答が概ね大学院生全体の傾向を反映していることが期待できる。なお，旧組織については，回答者が少ないこともあり，必ずしも分布が対象者の所属組織の割合に近くはない様子が見て取れる。

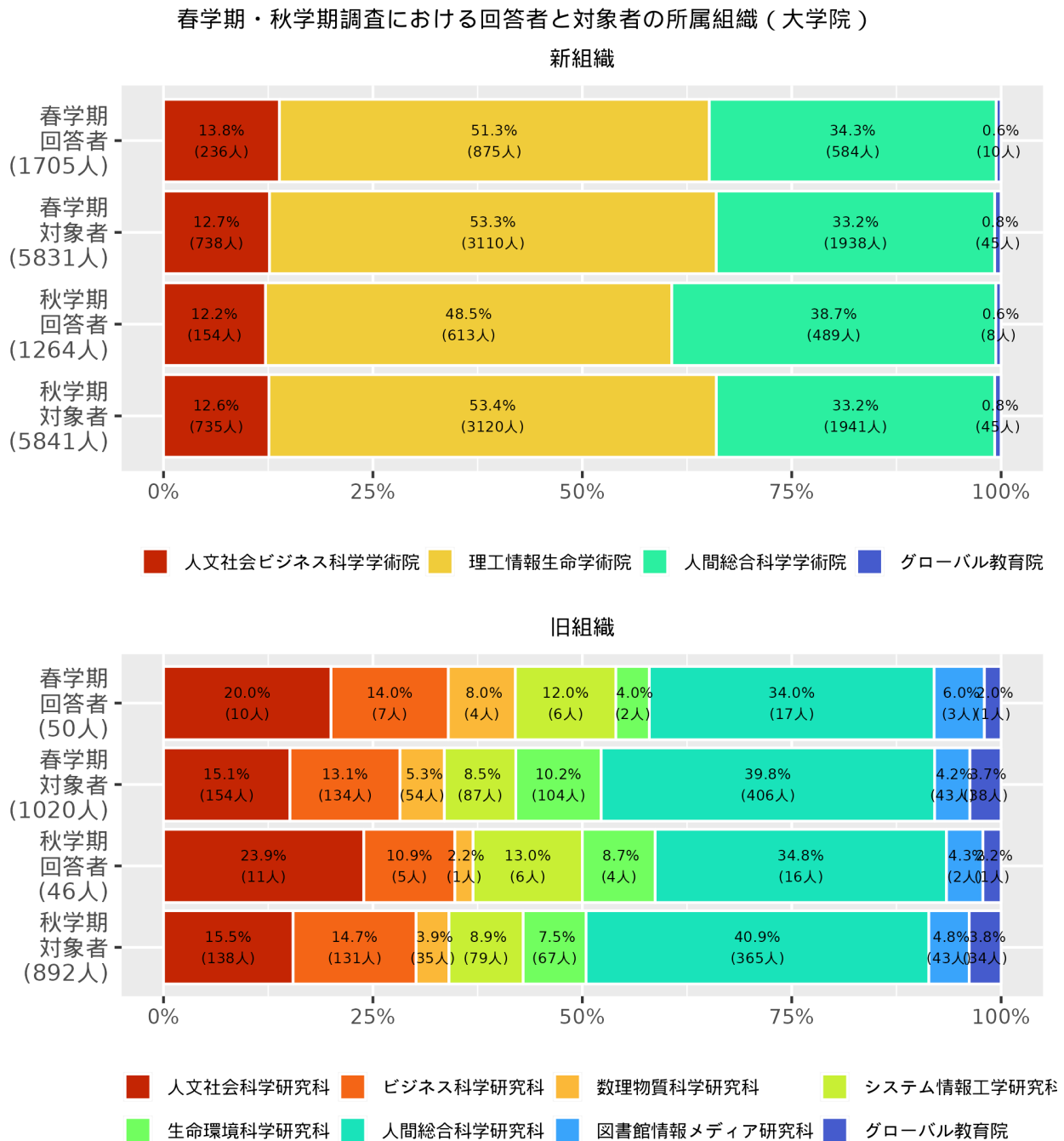


図4: 春学期・秋学期調査における回答者と対象者の所属組織（大学院）

2.3 回答者と対象者の入学年度

春学期調査、秋学期調査に回答した学生を入学年度の点から分布を確認したのが図5である。学群生、大学院生ともに、2022年度入学生、つまり、調査実施年度に本学に入学した学生が多く回答していることが見て取れる。したがって、以下で提示する設問別の調査結果は、新入生の認識や意見をより反映した結果であることに留意されたい。

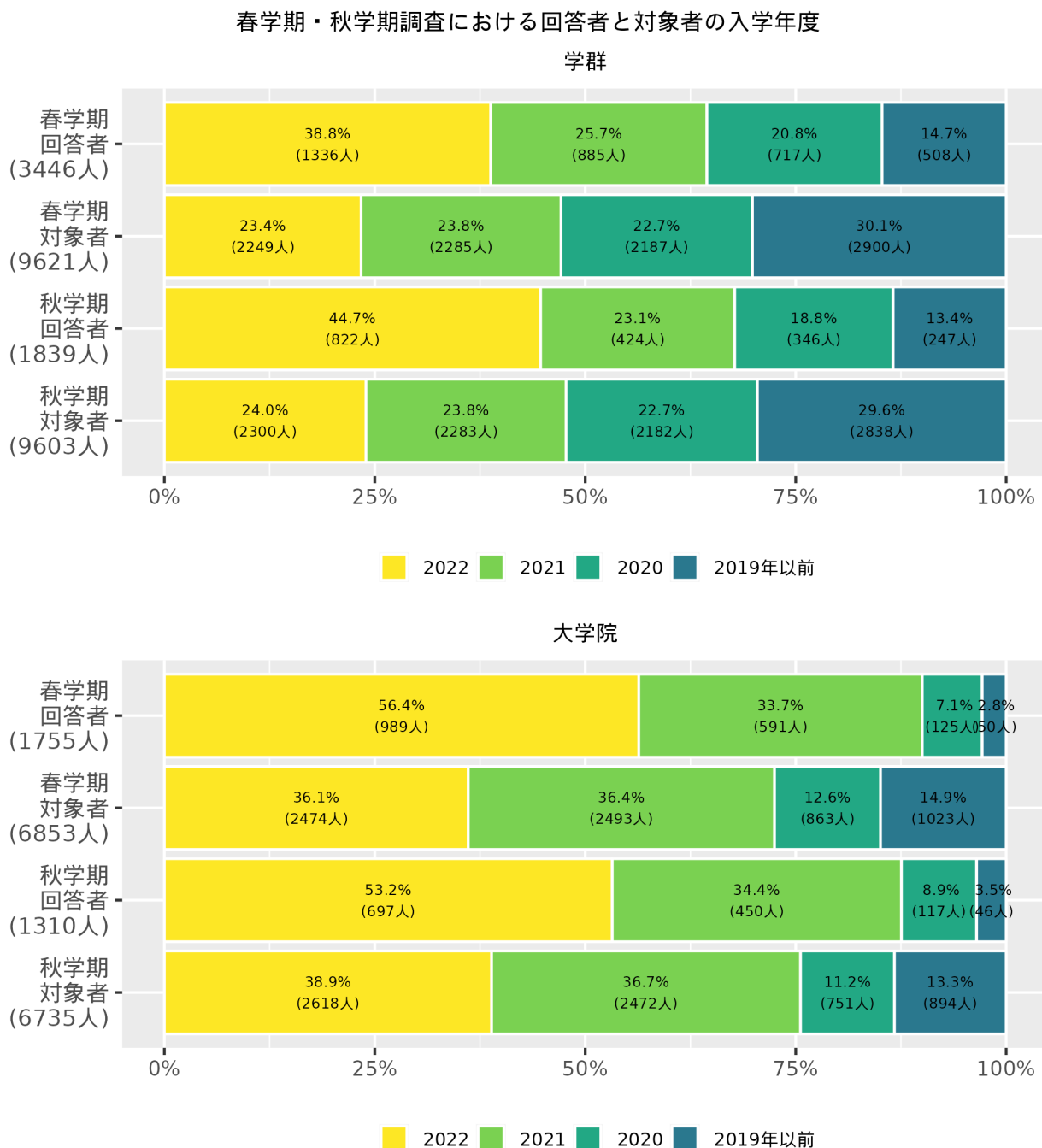


図5: 春学期・秋学期調査における回答者と対象者の入学年度

3 設問別調査結果

3.1 設問 1：春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間に対面で受けた授業の割合

春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間に対面で受けた授業の割合を、学群生及び筑波キャンパスの大学院生並びに東京キャンパスの大学院生でわけて示したのが図 6 である。なお、以下の設問も図 6 のように、すべて課程及びキャンパスをわけて示すことを踏襲する。どのグループにおいても、秋学期は対面授業が増えている。仮に「50 %程度対面授業だった」、「75 %程度対面授業だった」、「100 %対面授業だった」と回答した人を一括りにすると、春学期は学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の、いずれのグループでも一週間に受けた授業の半数以上が対面であった者は 40 %に至っていなかったのに比べ、秋学期はいずれのグループでも過半数に達しており、秋学期の方が対面授業を経験している者が大幅に増えていることがわかる。

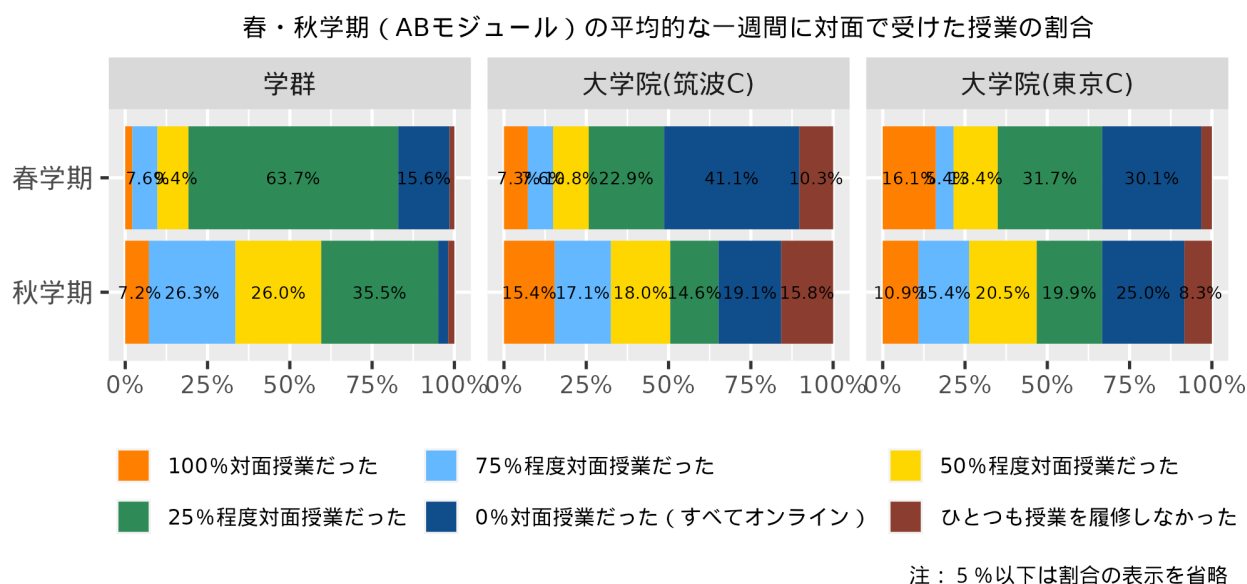


図 6: 春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間に対面で受けた授業の割合

3.2 設問 2：希望する次学期における対面授業の割合

次学期の対面授業の割合について希望を尋ねた（春学期回答者であれば同年度の秋学期，秋学期回答者であれば翌年度の春学期）のが図 7 である。春学期に比べて秋学期のほうが対面授業を望む割合が多くなっている。設問 1 同様に、「50 %程度対面授業であってほしい」、「75 %程度対面授業であってほしい」、「100 %対面授業であってほしい」と回答した人を対面授業をより希望する学生という形で一括りにすると、学群生においては、春学期は約半数強の学生が対面授業を希望するのに対し、秋学期回答者は 64.5% (10.1% + 20.0% + 34.4%) と、全体の約 3 分の 2 程度に上っていることがわかる。

同様な傾向は大学院生（筑波・東京キャンパスともに）に対しても確認できる。しかし、学群生と比べた際、対面授業を希望する学生の割合は若干低いことも明記しておく必要がある。筑波キャンパスで

は春学期は約4割強の大学院生が対面を希望（「50%程度対面授業であってほしい」, 「75%程度対面授業であってほしい」, 「100%対面授業であってほしい」のいずれかと回答）し、秋学期には約5割の大学院生が希望すると回答した。東京キャンパスの大学院生においてもほぼ同様の回答をしている。

また、実際にどのくらい対面だったかを尋ねた前の設問1の分布と設問2の分布を比較すると、春学期、秋学期ともに実際に対面授業を受けた割合よりも、対面授業を望む者のほうが多いことがわかる。例えば、設問1では春学期の学群生が対面授業を最低50%以上経験した学生は2割以下であったのに対し、次学期に対面を50%以上を希望する学群生は約半数であった。また、秋学期においては、受講した対面授業が全授業の50%以上であった学群生が約6割であったのに対し、次学期に対面を希望する学群生の割合は約65%と、意識のうえでは対面への回帰の希望が高まっていることがこの二つの図から垣間見える。

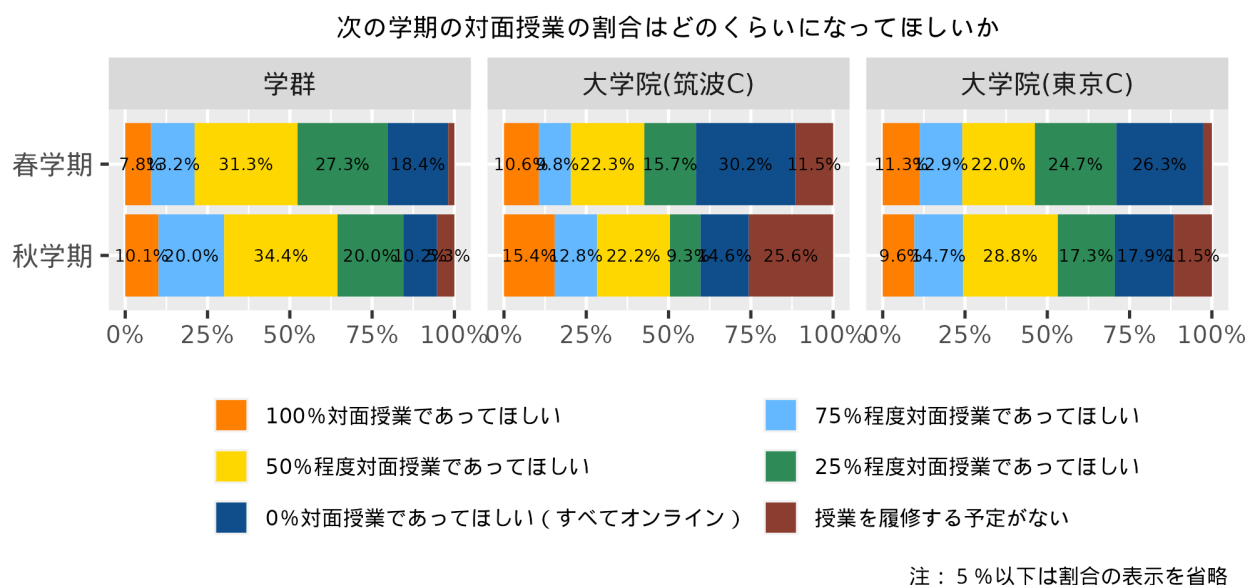


図7: 次の学期の対面授業の割合はどのくらいになってほしいか

3.3 設問3：春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間の授業形態別コマ数

春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間の授業形態別コマ数をプロットしたのが図8である。授業形態別コマ数を記述するために図8は箱ひげ図を採用した。箱の左端は第1四分位数、箱の中に引かれた線は中央値、箱の右端は第3四分位数を意味する。

学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の3つの回答者グループに共通することとして、いずれも秋学期のほうがオンデマンド、TeamsやZoom等を用いた同時双方向型の授業といった、オンライン中心の授業が減っている。たとえば学群生の回答者では「オンライン授業（オンデマンド型）」のコマ数の中央値は11コマであるのに対し、秋学期では「オンライン授業（オンデマンド型）」のコマ数の中央値は5コマと半分以上低下した。また、TeamsやZoom等を用いた同時双方向型のオンライン授業も3コマから1コマまで低下した。その代わりに増えたのは対面授業である。たとえば学群生では、春学期では「対面授業」のコマ数の中央値は4コマをやや下回っていたが、秋学期では「対面授業」のコマ数の中央値は6コマまで増加した。大学院は学群と異なり対面授業が増えた様子が見受けられないが、それ以上にオンライン授業が減っているため、結果的に設問1のように「対面授業

業だった」割合が増えたものと推察される。

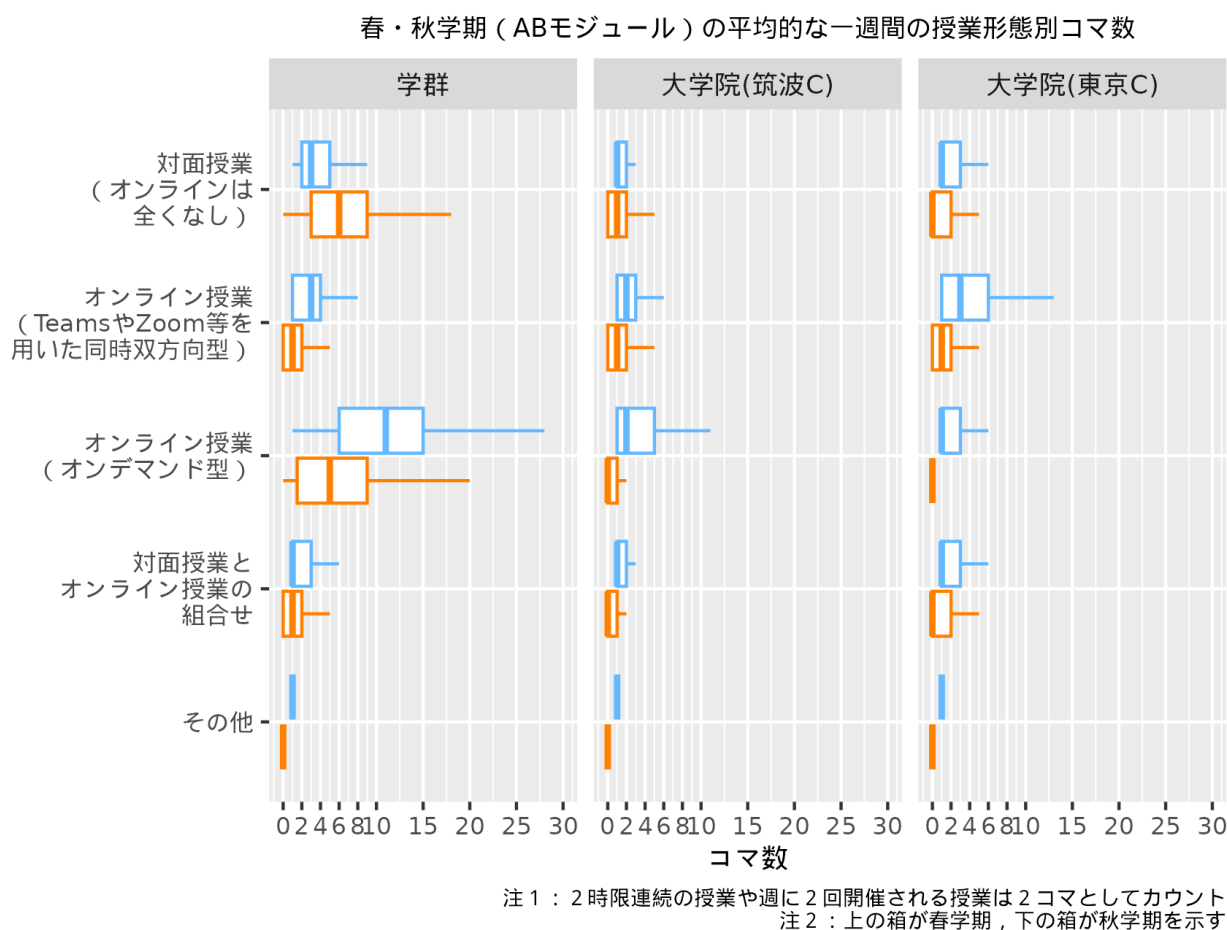
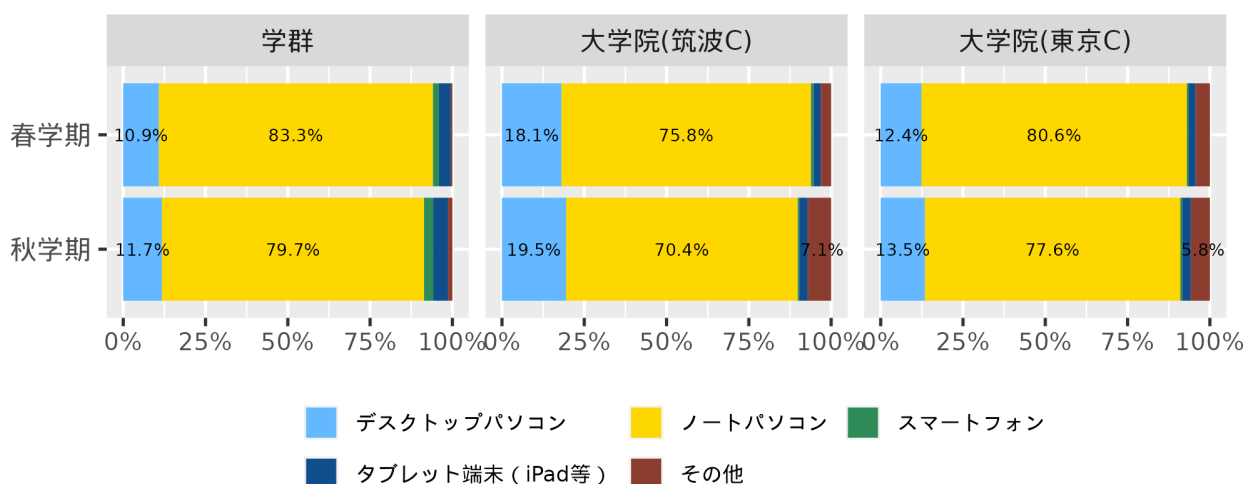


図 8: 春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間の授業形態別コマ数

3.4 設問 4：春・秋学期（AB モジュール）のオンライン授業の視聴・参加に最も使用したツール

以前の調査で指摘された懸念が、オンライン授業が展開される中で、学生の IT 環境に偏りがあるのではないかという点であった。前回調査ではノートパソコンやデスクトップパソコンを持っておらず、スマートフォンで受講している学生も、少数ではあるものの存在したことがわかっている。対面授業に戻りつつあるとはいえ、学生がノートパソコンやデスクトップパソコンを持っていることは変わらず重要であり、学生の IT 環境の現状を理解することは本学にとっても重要である。このような観点から、設問 4 では、春・秋学期（AB モジュール）のオンライン授業の視聴・参加に最も使用したツールが何かを確認した。その回答を示したのが図 9 である。春学期調査、秋学期調査ともに、学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の、3つのグループいずれにおいても約 8 割前後が「ノートパソコン」と回答し、1-2 割の学生が「デスクトップパソコン」と回答した。なお、極めて少ないが、「スマートフォン」と答える学生も見受けられ、特に学群生に一定数存在している。

春・秋学期（ABモジュール）のオンライン授業の視聴・参加に最も使用したツール



注：5%以下は割合の表示を省略

図9: 春・秋学期（ABモジュール）のオンライン授業の視聴・参加に最も使用したツール

3.5 設問5：春・秋学期（ABモジュール）の履修授業選択にあたっての情報取得方法

コロナ禍で懸念された別の課題として、オンラインによるコミュニケーションが中心の学生生活において、学生が必要な情報を果たして取得できているのかという懸念があった。その問題意識のもと、本設問では、履修授業選択という点に焦点を絞り、学生が春・秋学期（ABモジュール）の履修授業選択にあたってどのようなツールを用いているかに関して、その情報取得方法を複数選択可で尋ねた。その結果を示したのが図10である。

この結果明らかになったことは、シラバスが重要な情報源となっているということである。春学期調査、秋学期調査ともに、学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の3つのグループいずれもが「シラバス（KdB）」を最も使用したと回答している。特に学群生は、春学期は78.7%、秋学期は72.5%がシラバスを使用したと回答した。大学院生に関しては、学群生をやや下回るものの、やはりシラバスを最も使用したと回答している。これらの回答傾向が物語っていることは、シラバスが学生にとって重要な情報源ということである。今後のシラバスの更なる充実が期待される。

春・秋学期（ABモジュール）の履修授業選択にあたっての情報取得方法（複数選択可）

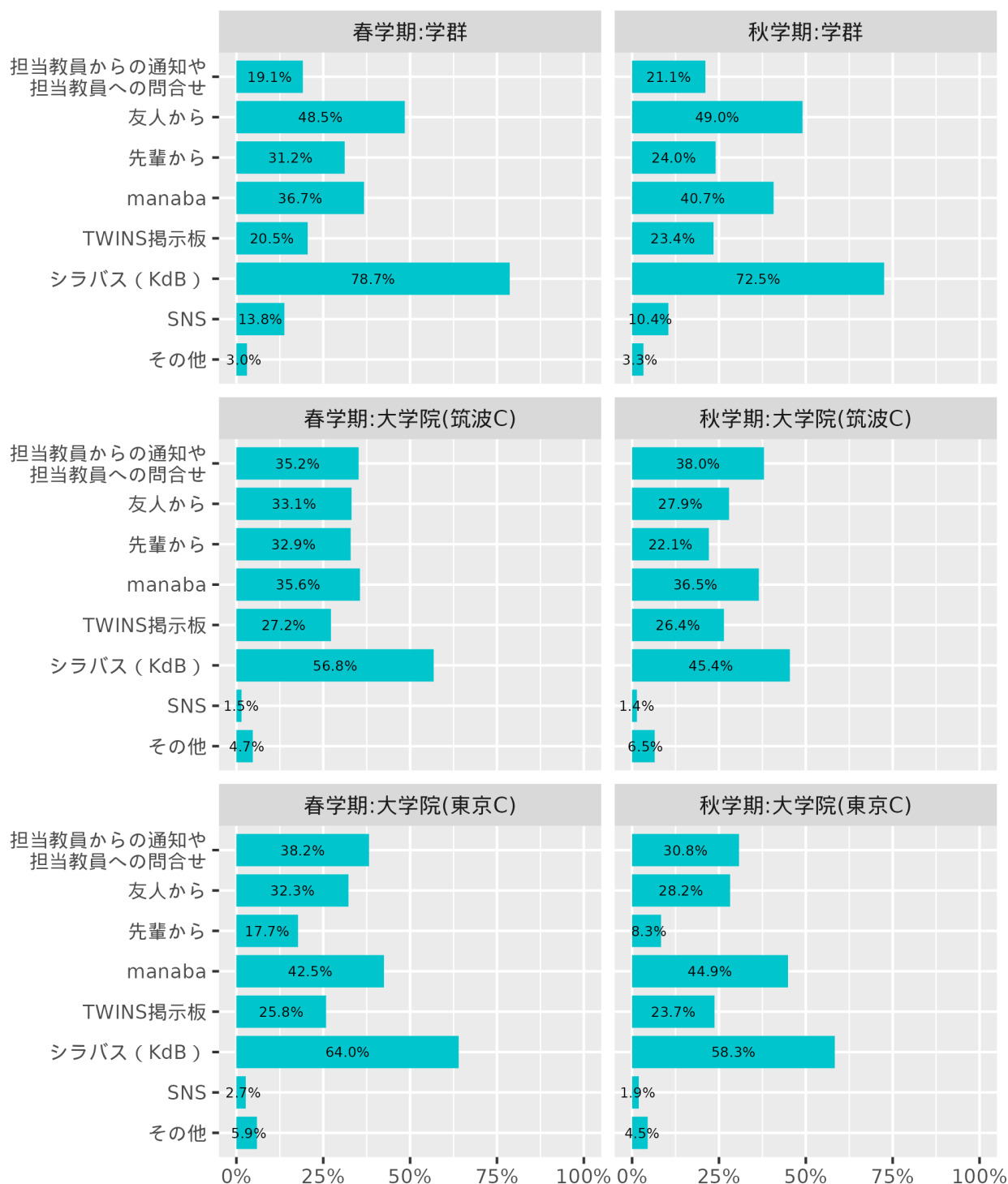


図 10: 春・秋学期（ABモジュール）の履修授業選択にあたっての情報取得方法（複数選択可）

3.6 設問 6：春・秋学期（ABモジュール）の間の，受講している授業に関する情報取得方法

設問 5 においては，履修授業選択の際に学生がどのようなツールを情報源としているかという点に対して尋ねた。この設問 6 においては，同様の質問を，履修中の授業に焦点を絞って尋ねた。以下の図 11

においては、春・秋学期（AB モジュール）の間の、受講している授業に関する情報取得方法を複数選択可で尋ねた集計結果を示している。この図によれば、春学期調査、秋学期調査ともに、学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の3つのグループいずれもが「manaba」を最も選んでいる。学群生の manaba 使用率は特に高く、春・秋ともに約 9 割弱の学生が使用していると回答した。大学院生においても、筑波・東京キャンパスともに、manaba の使用率は高く、約 7 割が使用していると回答した。一方 TWINS に関しては、掲示板を使用している割合はどのグループも約 2 割弱という結果となった。この結果は manaba が授業に関する情報収集源として一般的に使われているという現状を物語っている。一方で、Microsoft Teams を使用していると答える学生も学群生に関しては一定数おり（春 39.1%、秋 33.3%）、オンラインツールに限定すれば、manaba に次ぐ重要な情報源として機能していることも指摘しておきたい。また受講している授業のなかには対面授業が含まれていることもあって、「担当教員からの通知等」や「同じ授業の受講生から」も一定程度、選ばれている。

春・秋学期（ABモジュール）の間の、受講している授業に関する情報取得方法（複数選択可）

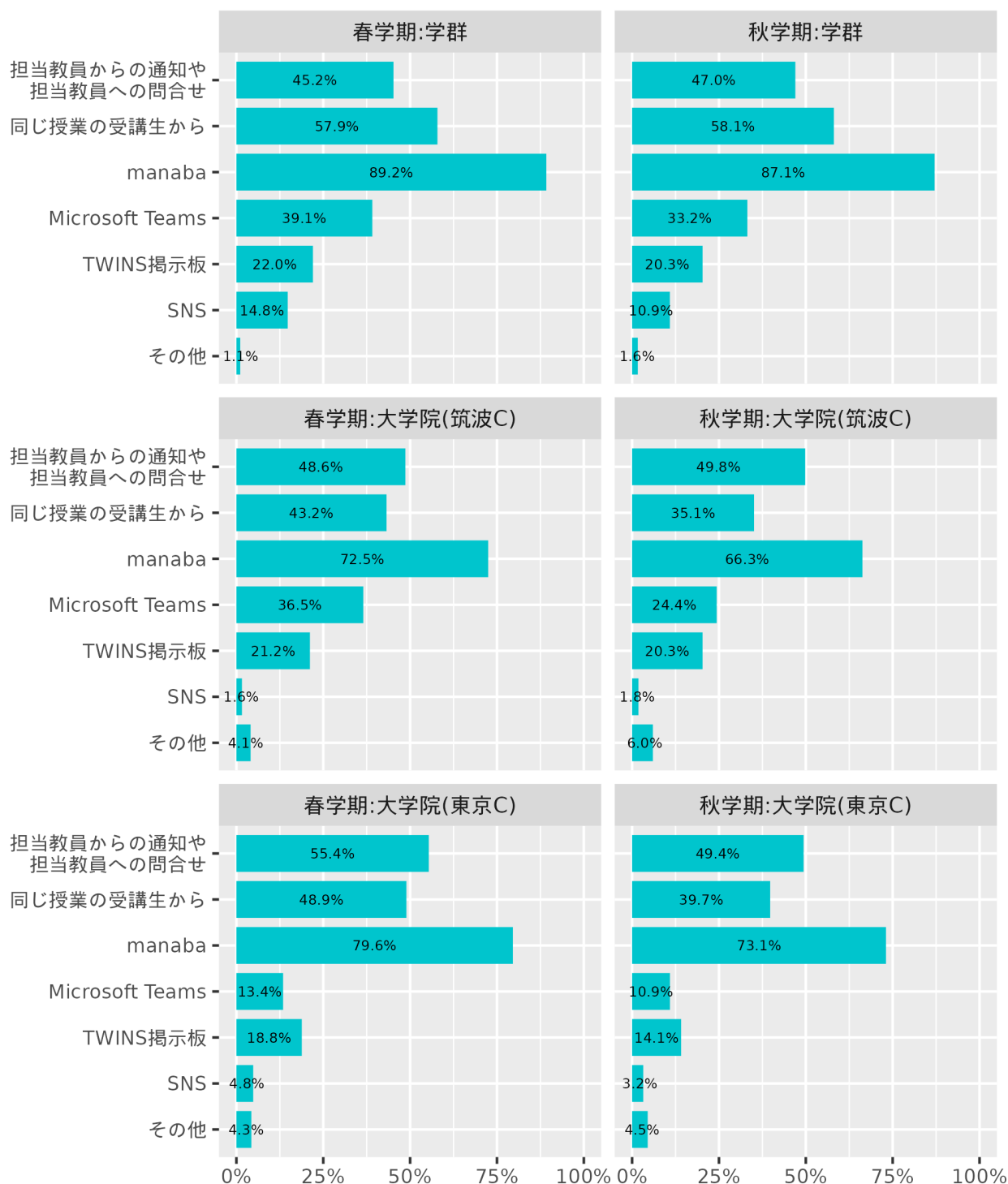


図 11: 春・秋学期（AB モジュール）の間の、受講している授業に関する情報取得方法（複数選択可）

3.7 設問 7：オンライン授業で良かったこと

コロナ禍におけるオンライン授業の全面展開の中で学生が挙げた声の中で見られたものの一つが、オンライン授業にも利点があるという点であった。その利点はポストコロナ時代においても生かすべきであり、その利点は何かを理解するために尋ねた設問が以下の設問 7 である。この設問においては、オン

ライン授業の利点を複数選択可で尋ね、その結果を示したのが図 12 である。

まず注目すべき点は、学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の3つのグループいずれも「場所を選ばず学習できた」を一番に挙げている点である。春・秋学期ともに、どのグループも約8割の学生がオンライン授業の利点として選択した。二番目の利点としては、「自分のペースで学習できた」が多く、学群生は約8割（春学期: 85.3%, 秋学期: 79.5%）、筑波キャンパスの大学院生は5 - 6割（春学期: 63.9%, 秋学期: 52.5%）、東京キャンパスの大学院生は約4 - 5割（春学期: 47.3%, 秋学期: 36.5%）の学生がそのように回答した。また、三番目の利点として「復習が何度もできた」が確認できた。

オンライン授業で良かったこと（複数選択可）

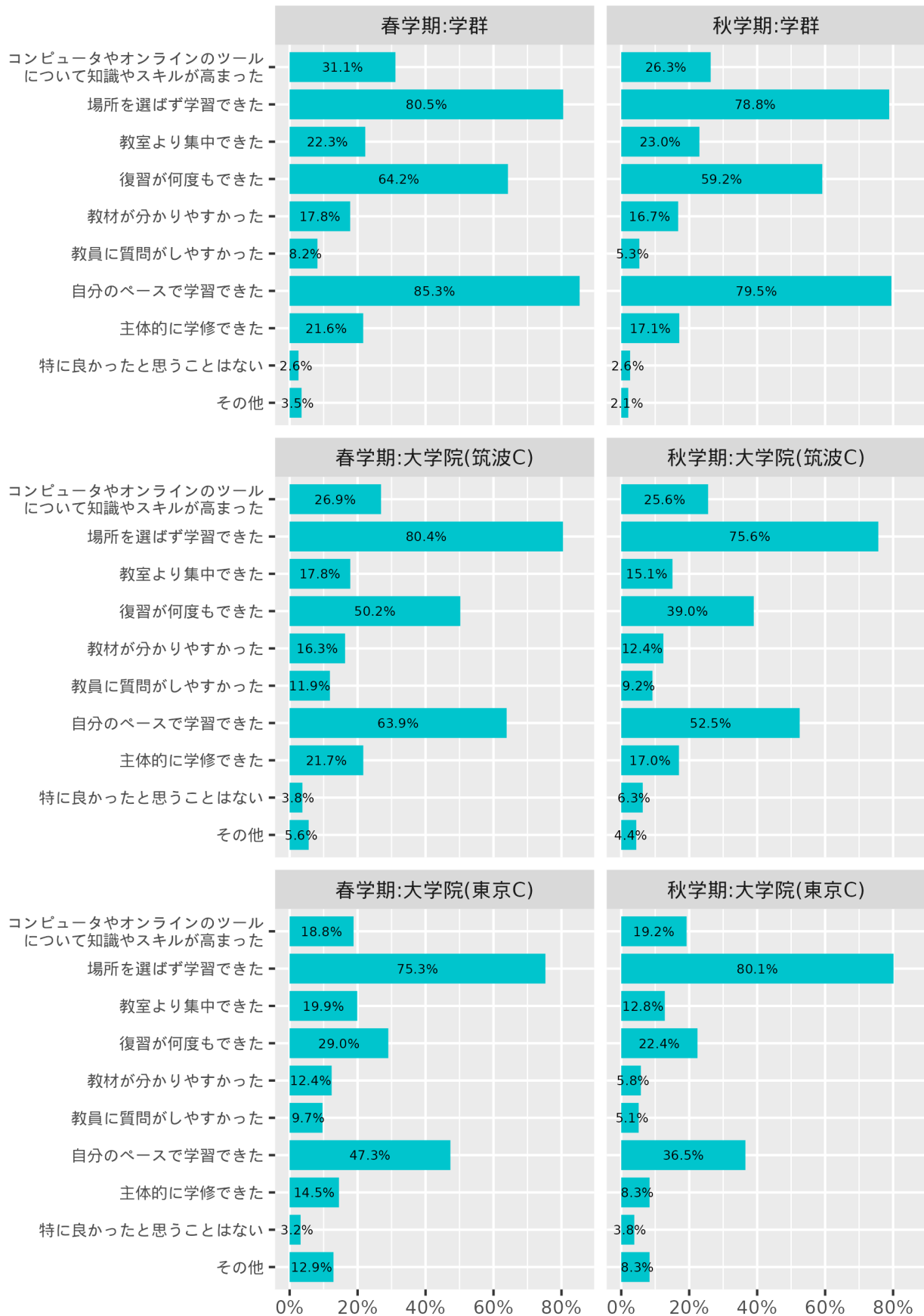


図 12: オンライン授業で良かったこと（複数選択可）

3.8 設問 8：オンライン授業の受講に関して困ったこと

一方、オンライン授業の受講に関して困ったことを複数選択可で尋ねた結果が図 13 である。こちらでも、学群生、筑波キャンパスの大学院生、東京キャンパスの大学院生の 3つのグループで春学期と秋学期で回答傾向に大きな変化はなく、学群生では「パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた」(春学期: 41.1%, 秋学期: 37.0%), 「授業に関する友人との情報交換ができなかった」(春学期: 36.5%, 秋学期: 30.0%), 「課題が多かった」(春学期: 38.3%, 秋学期: 30.2%) が最も多く見られた回答だった。筑波キャンパスの大学院生では「パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた」(春学期: 28.5%, 秋学期: 26.0%), 「授業に関する友人との情報交換ができなかった」(春: 31.7%, 秋学期: 25.5%), 東京キャンパスの大学院生では「授業に関する友人との情報交換ができなかった」(春学期: 34.4%, 秋学期: 36.5%) などが挙げられている。なお、大学院生では「特に困ったことはない」が学群生に比べて選択されやすいことも、両調査で確認できる。

オンライン授業の受講に関して困ったこと（複数選択可）

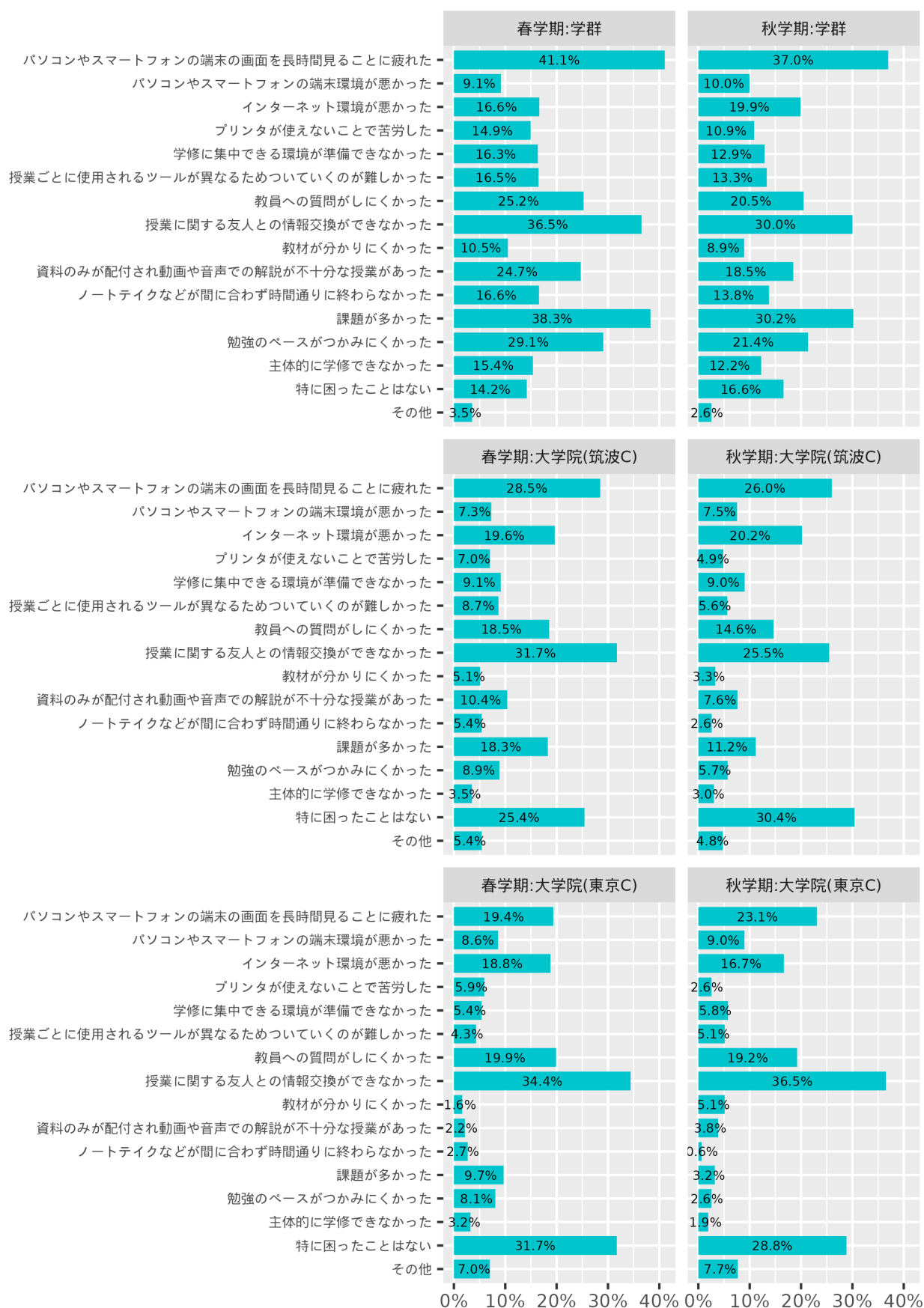


図 13: オンライン授業の受講に関して困ったこと（複数選択可）

3.9 設問 9：対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったこと

オンライン授業と対比するかたちで、対面授業の良さについても尋ねたのが図 14 である。この設問も、春学期と秋学期で回答傾向に大きな変化は見られず、学群生及び東京キャンパスの大学院生で「友人と授業に関する情報交換がしやすかった」(学群生: 春学期 50.6%, 秋学期 54.8%; 東京キャンパスの大学院生: 春学期 43.0%, 秋学期 46.8%), 筑波キャンパスの大学院生で「他の受講生との授業内での議論がしやすかった」(春学期 41.5%, 秋学期 41.0%) を利点の第一に選んでいる。このことから、学生同士の交流を重要視していることが窺われる。

対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったこと
(複数選択可)

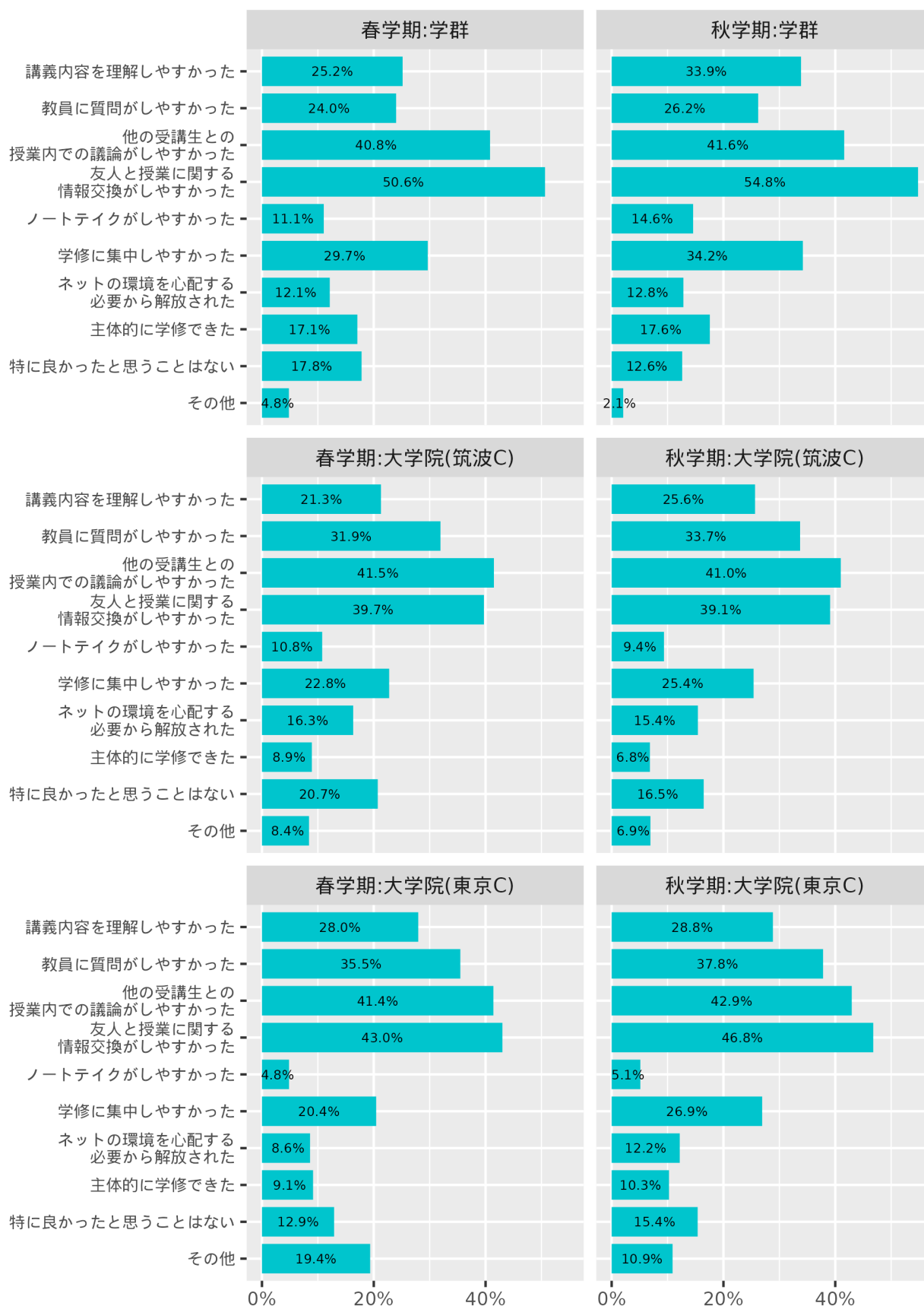


図 14: 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったこと (複数選択可)

3.10 設問 10：対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったこと

同様に、オンライン授業と対比するかたちで、対面授業の受講で困ったことについて尋ねたのが図 15 である。3つのグループに共通して選ばれているのが「通学時間がかかった」であり、学群生で春学期は 48.5%、秋学期は 52.5%、筑波キャンパスの大学院生で春学期は 47.8%、秋学期は 49.0%、東京キャンパスの大学院生で春学期は 62.4%、秋学期は 55.8% に上っている。特に学群生で更に選ばれているのが「講義を繰り返し見ることができないので、予習復習がしにくかった」で春学期は 46.7%、秋学期は 52.5%、「キャンパス内の移動に時間がかかった」で春学期は 42.8%、秋学期は 42.6% であった。

対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったこと
(複数選択可)

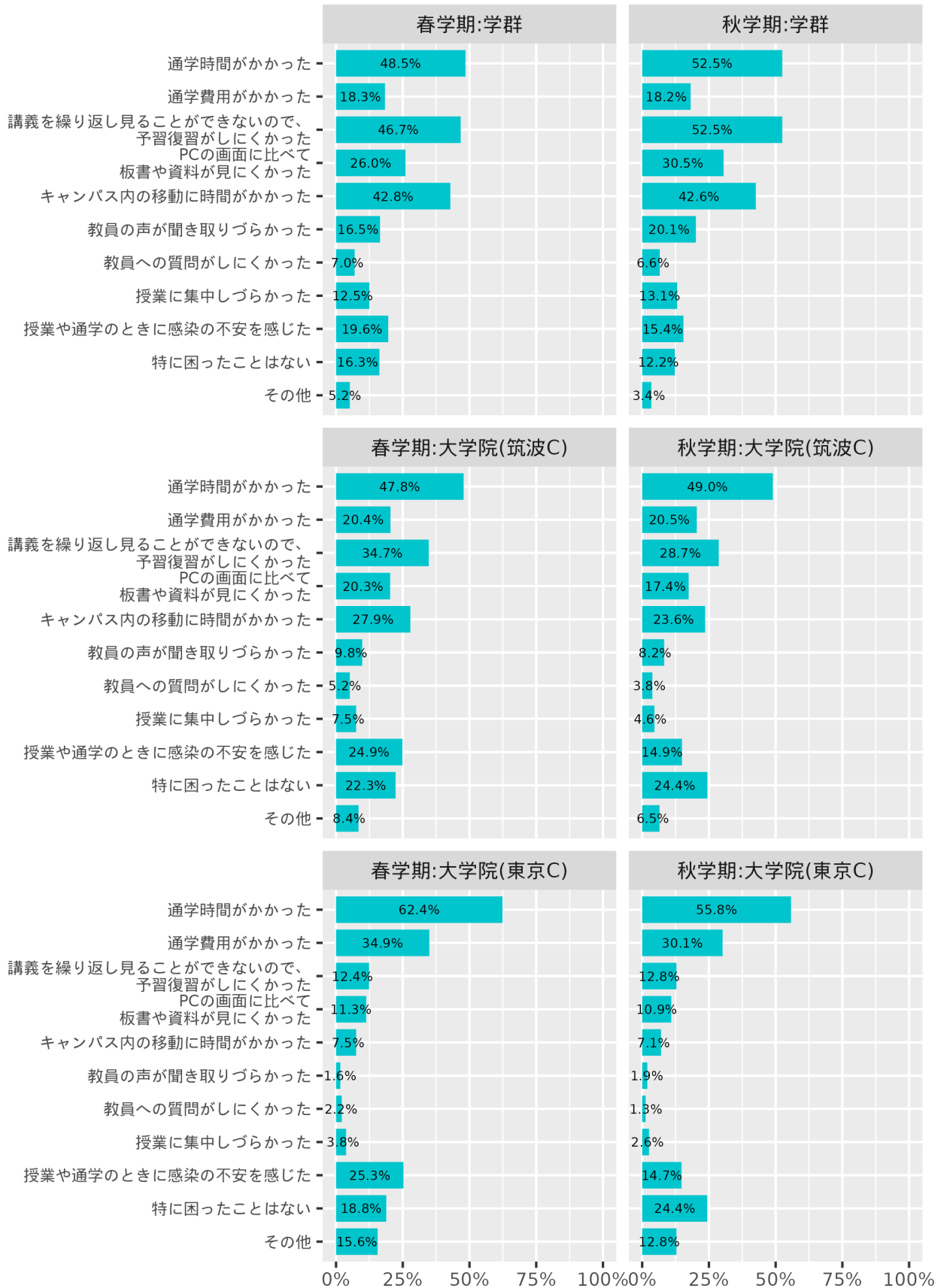


図 15: 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったこと (複数選択可)

3.11 設問 11：オンライン授業で課される課題の負担感

オンライン授業の利点を生かすといっても、各授業形態には各授業形態なりの負担感もある。特にオンデマンド型のオンライン授業では学修の様子を把握する手段が限られているため、課題が多くなりがちであることがコロナ禍当初は指摘されていた。このことを改めて確認するべく、オンライン授業で課される課題の負担感について複数選択可で尋ねた結果が図 16 である。春学期の学群生は「課題の数が多くことに負担を感じた」、「個々の課題の内容が重いことに負担を感じた」を多く選んでいる。これに対し、春学期の大学院生は「特に負担を感じなかった」が筑波キャンパスで 49.3%、東京キャンパスで 58.1% と、最も多く選んでいる。秋学期は、学群生・大学院生の上記の傾向は継続したものの、どのグループでも負担感の各選択肢を選ぶ割合が春学期に比べて減っており、「特に負担は感じなかった」を選択する割合が高まった。

オンライン授業で課される課題の負担感（複数選択可）

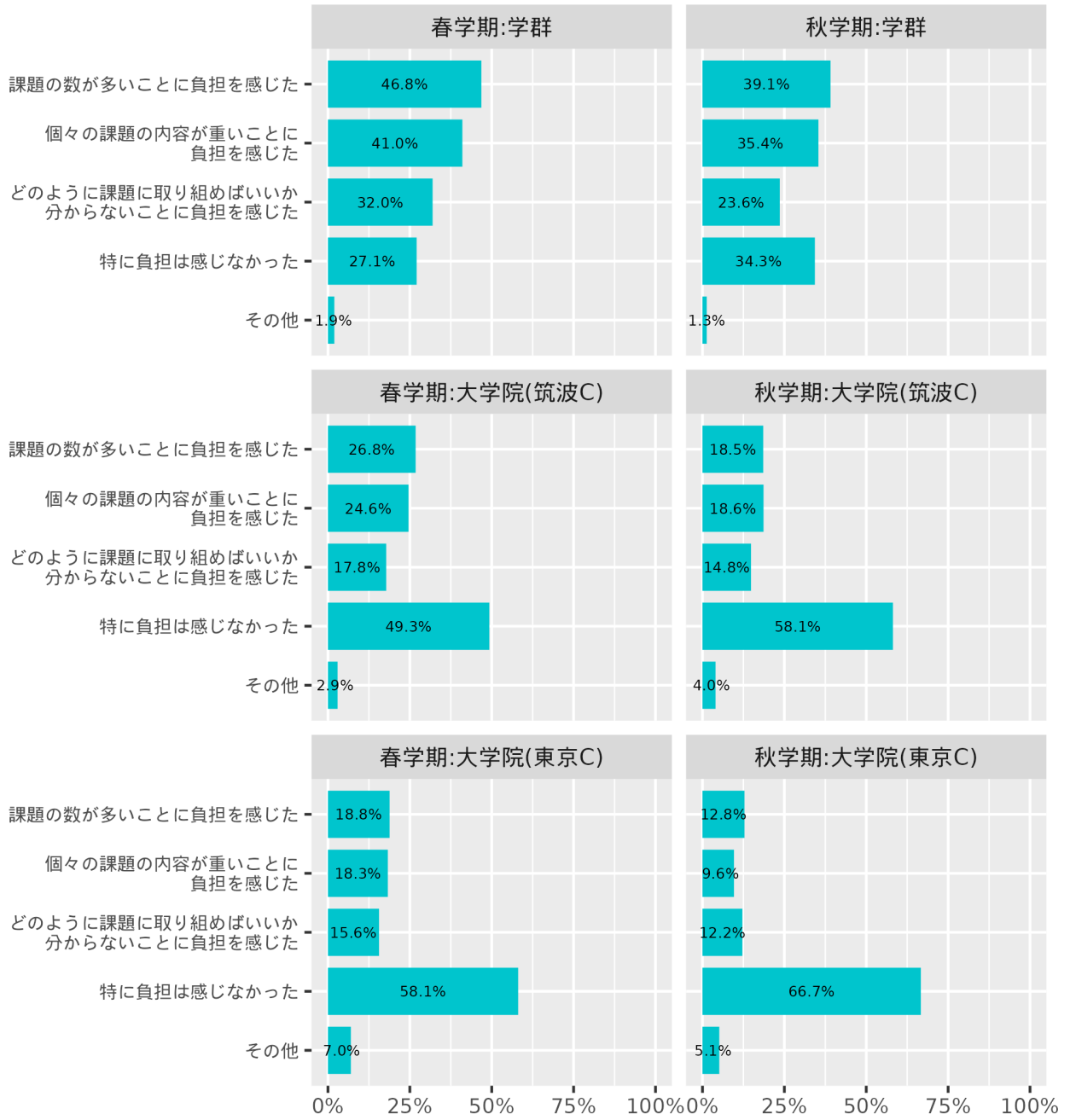


図 16: オンライン授業で課される課題の負担感（複数選択可）

3.12 設問 12：希望する授業形態

対面授業、オンライン授業といった提供形態に関する希望は、授業の属性等によって変わることが考えられる。そこで、授業の規模や教授法ごとに、提供形態の希望を尋ねた結果が図 17 から図 19 であり、なかでも「教員による大人数の講義中心の授業」についての結果が図 17 である。どのグループでも春学期、秋学期の各調査で最も選ばれた選択肢に変化はなく、学群生及び筑波キャンパスの大学院生では「授業動画を視聴するオンデマンド型（オンライン）のみでやってほしい」（学群生：春 50.9%、秋 46.1%；筑波キャンパスの大学院生：春 37.2%、秋 28.0%）、東京キャンパスの大学院生では「対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい」（春 44.1%、秋 46.8%）が最多となっている。ただし、筑波キャンパスの大学院生については、「対面のみでやってほしい」が春学期の 7.6% から秋学期には 12.8% に増え、かつ、最多である「授業動画を視聴するオンデマンド型（オンライン）のみでやってほしい」は春学期の 37.2% から秋学期には 28.0% に減っているため、授業形態への要望が変化した可能性が窺われる。

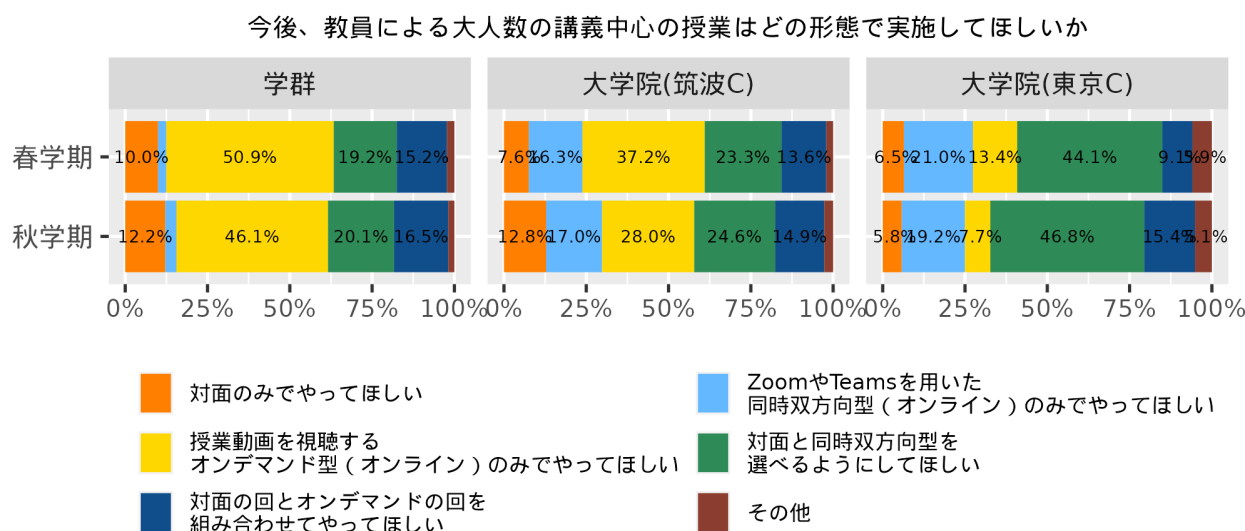
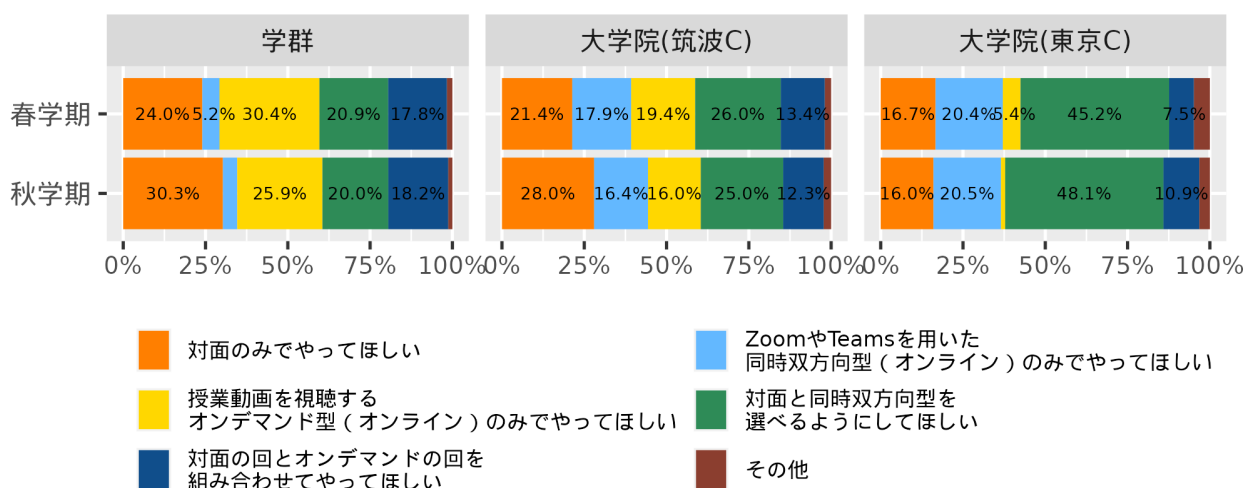


図 17: 今後、教員による大人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか

同様に、「教員による少人数の講義中心の授業」に対する提供形態の希望を尋ねた結果が図 18 である。学群生では、春学期は「授業動画を視聴するオンデマンド型（オンライン）のみでやってほしい」が 30.4% で最多であったのに対し、秋学期は「対面のみでやってほしい」が 30.3% で最多になった。筑波キャンパスの大学院生では、春学期は「対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい」が 26.0% で最多であったのに対し、秋学期は「対面のみでやってほしい」が 28.0% で最多になった。東京キャンパスの大学院生では、春学期・秋学期とも、「対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい」が最多であった。学群生及び筑波キャンパスの大学院生で、春学期から秋学期の間で対面授業を希望する人が増える変化が見られた。

今後、教員による少人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか

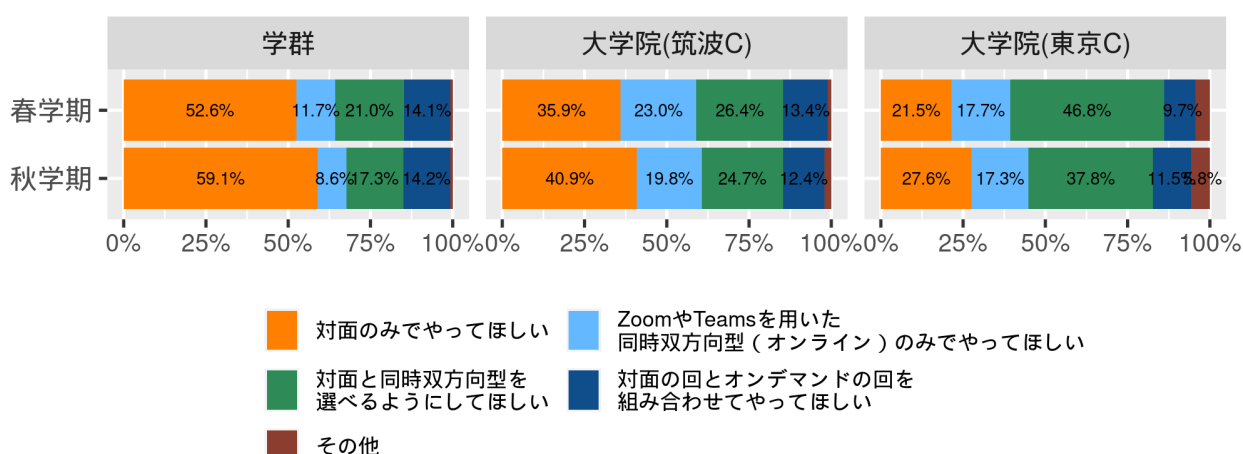


注：5%以下は割合の表示を省略

図 18: 今後、教員による少人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか

最後に、「学生のグループワークや議論中心の授業（ゼミなどの演習を含む）」に対する提供形態の希望を尋ねた結果が図 19 である。学群生は、春学期・秋学期ともに「対面のみでやってほしい」が最多であるが、その割合は春学期は 52.6% であったのに対し、秋学期は 59.1% になり、高まった。筑波キャンパスの大学院生も、春学期・秋学期ともに「対面のみでやってほしい」が最多であるが、その割合は春学期は 35.9% であったのに対し、秋学期は 40.9% になり、高まった。東京キャンパスの大学院生は、春学期・秋学期ともに「対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい」が最多であるが（春学期 46.8%、秋学期 37.8%）、「対面のみでやってほしい」の割合も春学期に比べて多くなった（春学期 21.5%、秋学期 27.6%）。

今後、学生のグループワークや議論中心の授業（ゼミなどの演習を含む）はどの形態で実施してほしいか



注：5%以下は割合の表示を省略

図 19: 今後、学生のグループワークや議論中心の授業（ゼミなどの演習を含む）はどの形態で実施してほしいか

3.13 設問 13：春・秋学期（AB モジュール）の学生生活においてストレスに感じたこと

コロナ禍当初の 2020 年度は、オンデマンド型授業が提供されたことのみならず、キャンパス内の入校制限やソーシャルディスタンスの確保が奨励されたこともあって、学生がさまざまなストレス要因にさらされたことが予想されたため、2020 年度調査では学生生活におけるストレスに感じたことを尋ねた。2022 年度の現在ではどうかを確認すべく、学生生活においてストレスに感じたことを尋ねた結果が図 20 である。

学群生は、春学期は「友人との交流ができなかった」が 51.3% で最も多く、「特にストレスは感じなかった」が 36.1% であった。秋学期は「友人との交流ができなかった」が 30.5% でストレスに感じたことを選択肢の中では最も選ばれているが、春学期と比べて割合は減った。また、「特にストレスは感じなかった」が 52.1% であり、春学期と比べて増えた。

筑波キャンパスの大学院生は、春学期は「特にストレスは感じなかった」が 39.0% で最も多く、「友人との交流ができなかった」が 36.8%、「研究活動に遅れが生じた」が 21.6% であると続いた。秋学期は、「特にストレスは感じなかった」が 47.8% で、春学期と比べて割合が増えた。「友人との交流ができなかった」は 24.5% で春学期と比べて減ったが、「研究活動に遅れが生じた」が 23.8% で春学期と同程度の割合である。

東京キャンパスの大学院生は、春学期は「特にストレスは感じなかった」が 41.9% で最も多く、「友人との交流ができなかった」が 36.6%、「教員との交流ができなかった」が 29.0% であった。秋学期は、「特にストレスは感じなかった」が 52.6% で、春学期と比べて割合が増えた。「友人との交流ができなかった」は 27.6% で春学期と比べて減ったが、「教員との交流ができなかった」も 16.7% で春学期と比べて減った。

どのグループにおいても春学期に比べて秋学期のほうがストレスに感じたことを挙げる割合が減る傾向が見られた。

春・秋学期（ABモジュール）の学生生活においてストレスに感じたこと
（複数選択可）

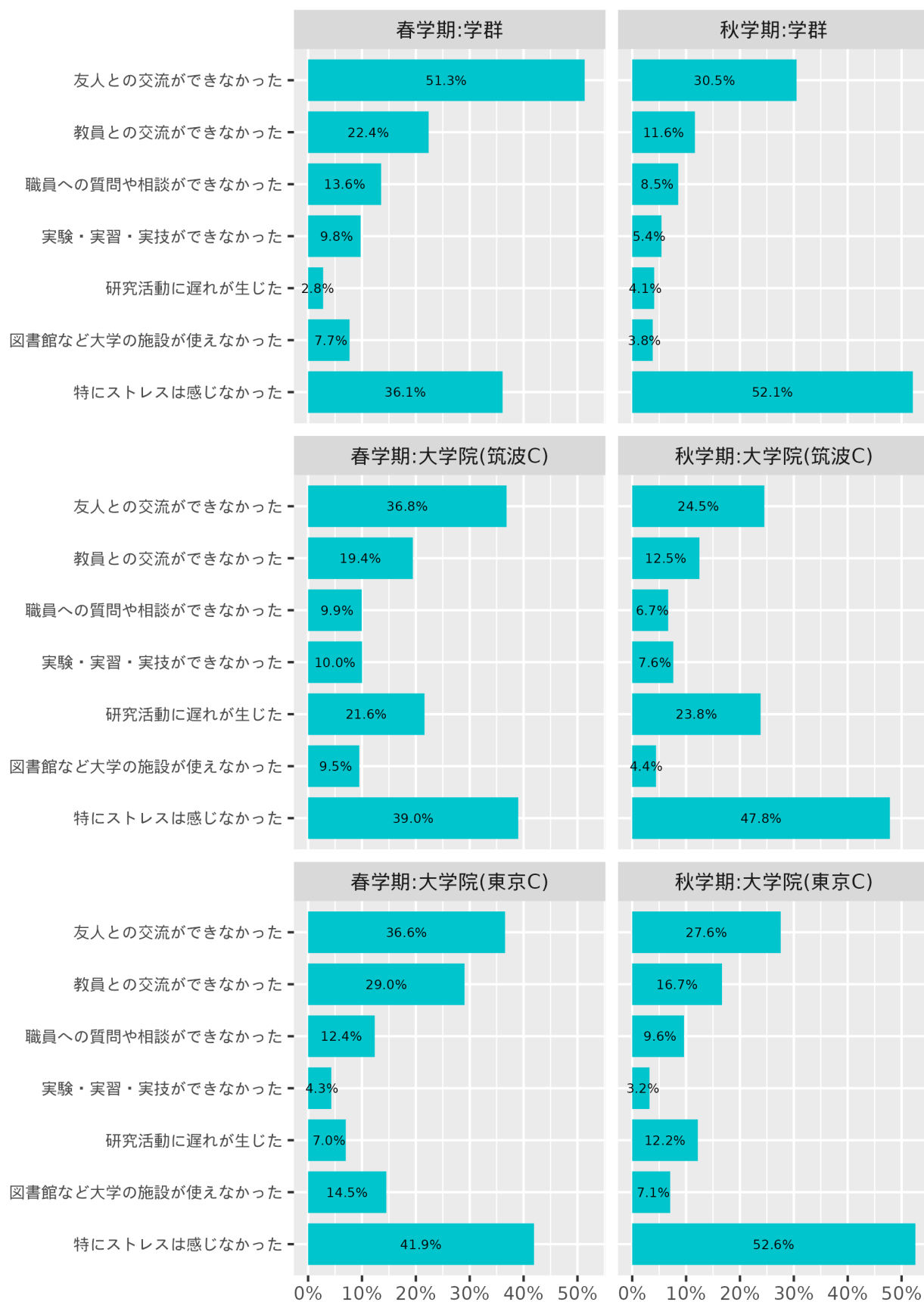
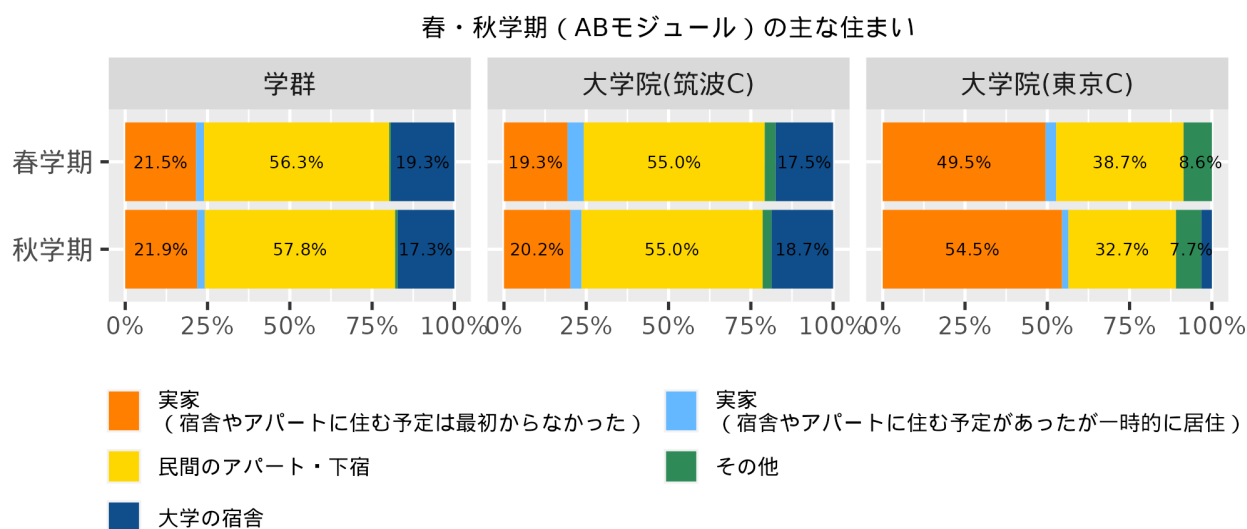


図 20: 春・秋学期（ABモジュール）の学生生活においてストレスに感じたこと（複数選択可）

3.14 設問 14：春・秋学期（AB モジュール）の主な住まい

オンライン授業の履修が多くなれば静謐な環境を整えることが重要になる一方、対面授業が多くなれば通学時間や費用も考慮する必要が出てくる。特にコロナ禍当初の 2020 年度前半はキャンパス内への入構制限があったため、住まいをどうするかは重要な問題であった。2022 年度現在ではどうなっているのかを確認すべく、2020 年度調査から継続して春学期及び秋学期中の主な住まいについて尋ねた結果が図 21 である。

どのグループにおいても、春学期と秋学期の間に大きな変化はない。学群生及び筑波キャンパスの大学院生で「民間のアパート・下宿」が、東京キャンパスの大学院生で「実家（宿舍やアパートに住む予定は最初からなかった）」が最多となっている。



注：5%以下は割合の表示を省略

図 21: 春・秋学期（AB モジュール）の主な住まい

3.15 設問 15：春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一日の生活時間

対面授業がより奨励された秋学期は、実際に対面での形態で提供される授業が多くなったことは既に設問 3 で確認したとおりである。それでは、学生の生活の在り方も、こうした提供する授業形態の変化に伴って変わったのであろうか。春学期及び秋学期の平均的な一日の生活時間について尋ねた結果が図 22 である。授業日と授業のない日に分けて生活時間を尋ねた。各項目で、上の青い箱ひげ図が春学期、下のオレンジ色の箱ひげ図が秋学期の分布を示している。

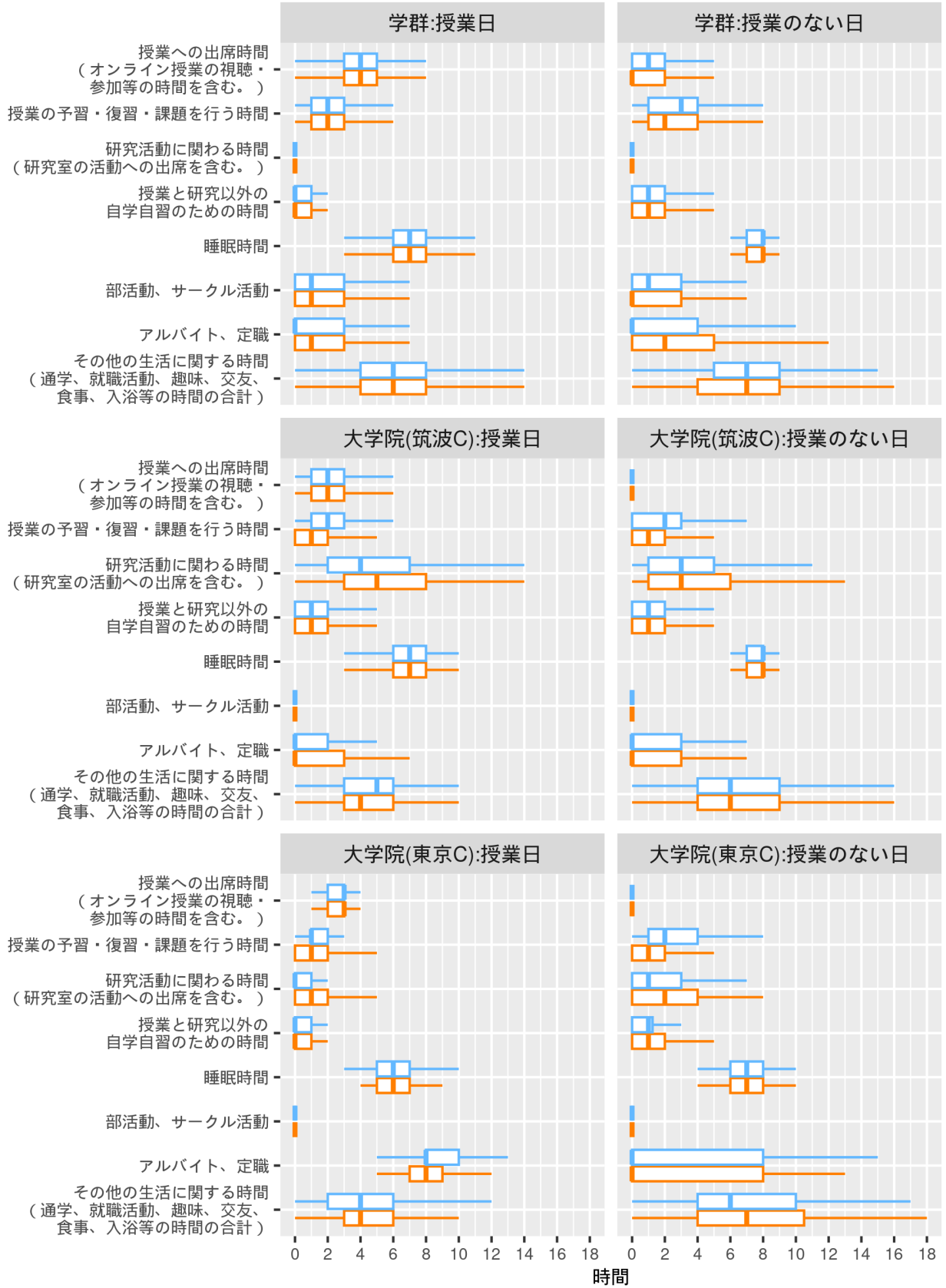
春学期と秋学期の間で、生活時間に特段の変化は認められない。

学修や研究に関する活動に着目すると、学群生では、授業日の「授業への出席時間」の中央値は春学期・秋学期ともに 4 時間、「授業の予習・復習・課題を行う時間」の中央値は春学期・秋学期ともに 2 時間である。授業のない日の「授業の予習・復習・課題を行う時間」の中央値は、春学期で 3 時間、秋学期で 2 時間である。筑波キャンパスの大学院生では、授業日及び授業のない日の双方で「研究活動に関わる時間」が相対的に多い。「研究活動に関わる時間」の中央値は、春学期の授業日で 4 時間、秋学

期の授業日で5時間，春学期・秋学期の授業のない日で3時間である。

東京キャンパスの大学院生では，授業日の「授業への出席時間」の中央値は春学期・秋学期ともに3時間，「授業の予習・復習・課題を行う時間」の中央値は春学期・秋学期ともに1時間，「研究活動に関わる時間」の中央値は春学期で0時間，秋学期で1時間である。授業のない日の「授業の予習・復習・課題を行う時間」の中央値は春学期で2時間，秋学期で1時間であり，「研究活動に関わる時間」の中央値は春学期で1時間，秋学期で2時間である。

春・秋学期（ABモジュール）の平均的な一日の生活時間



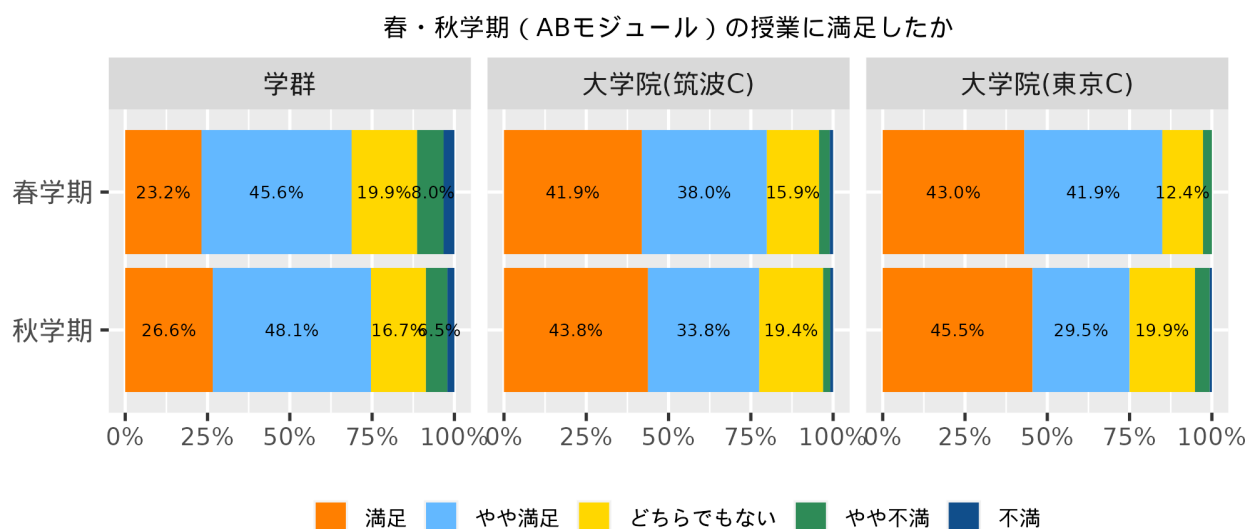
注1：一日の生活時間の合計が24時間となる学生のデータのみ使用
 注2：上の箱が春学期，下の箱が秋学期を示す

図 22: 春・秋学期（ABモジュール）の平均的な一日の生活時間

3.16 設問 16：春・秋学期（AB モジュール）の授業・学生生活への満足度

これまでの設問で確認してきたのは、2022 年度の春学期、秋学期での学修や生活の状況であった。その結果としての学修成果がどうであるか、少なくとも学生自身はどのように自己評価しているか、という点が教学マネジメントの観点からは重要である。そこで、2020 年度調査に引き続き、授業と学生生活への満足度を尋ねた。

春学期と秋学期で提供された授業に満足したかを尋ねた結果が図 23 である。東京キャンパスの大学院生で「やや満足」と回答する割合が 41.9% から 29.5% へと減り、「どちらでもない」の回答が 12.4% から 19.9% へと増えている点を除けば、どのグループでも概ね春学期と秋学期の間に変化は見受けられない。



注：5%以下は割合の表示を省略

図 23: 春・秋学期（AB モジュール）の授業に満足したか

春学期と秋学期の間の学生生活に満足したかを尋ねた結果が図 24 である。授業とは異なり、学群生及び東京キャンパスの大学院生では、春学期よりも秋学期のほうが「満足」と回答した割合が多くなっている。学群では 23.1% であったのが 29.9%，東京キャンパスの大学院生では 29.0% であったのが 38.5% となっている。なお、筑波キャンパスの大学院生では大幅な変化は見受けられない（春学期：33.8%，秋学期：35.6%）。

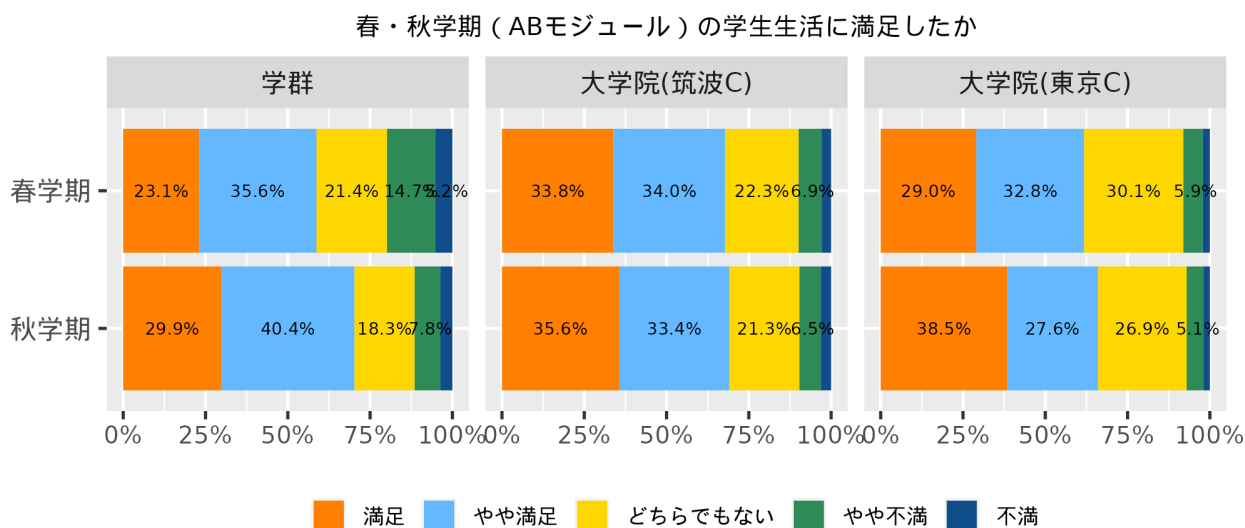


図 24: 春・秋学期（AB モジュール）の学生生活に満足したか

3.17 設問 17：春学期と比べた秋学期における対面授業の増加度合い（秋学期調査のみ）

設問 17 以降は秋学期調査から設定された設問である。

秋学期に向けて対面授業の提供を心掛けるよう呼びかけられたことに鑑み、春学期に比べて秋学期に対面授業が増えたかを尋ねた結果が図 25 である。学群生及び筑波キャンパスの大学院生では「増えた」が最も多く選ばれた選択肢となっており、学群生で 75.5%，筑波キャンパスの大学院生で 41.1% となっている。学群生では「増えた」と回答したのが調査回答者の 4 分の 3 に上っており、多くの学生が対面授業の増加を実感した結果となっている。

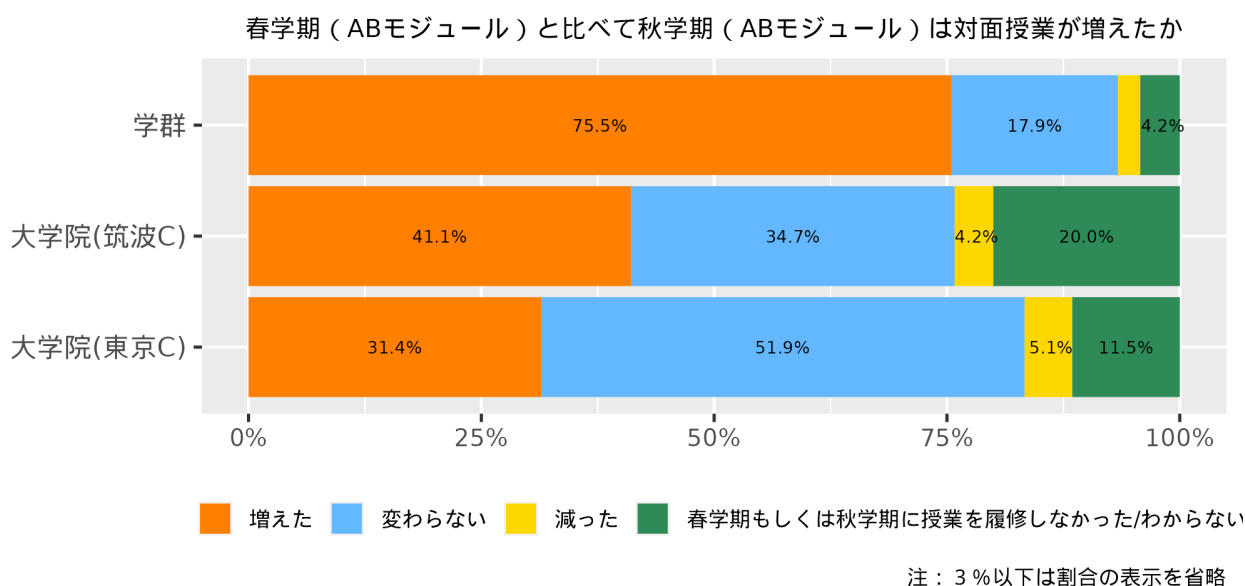


図 25: 春学期（AB モジュール）と比べて秋学期（AB モジュール）は対面授業が増えたか

3.18 設問 18：春学期と比べて秋学期での授業を通した学びがより深まったと思う度合い（秋学期調査のみ）

設問 16 と同様に学修成果を重視する点から、対面授業の推奨の変化を受けて、より直接的に春学期と比べて秋学期は授業を通した学びがより深まったと思うかを尋ねた結果が図 26 である。肯定的な回答（「とてもそう思う」＋「そう思う」）が、学群生では 73.2%（「とてもそう思う」14.0%、「そう思う」59.2%）、筑波キャンパスの大学院生では 58.9%（「とてもそう思う」13.9%、「そう思う」45.0%）、東京キャンパスの大学院生では 73.7%（「とてもそう思う」14.7%、「そう思う」59.0%）いずれのグループにおいても過半数に及んでいる。秋学期はより充実した学習をしていたことが窺われる。

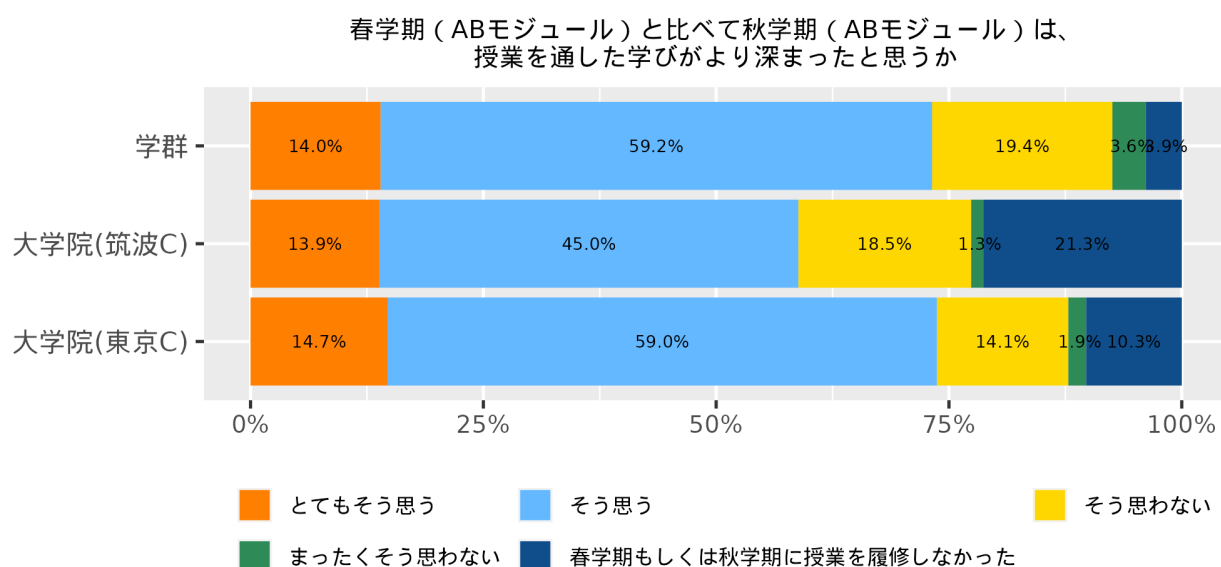


図 26: 春学期（AB モジュール）と比べて秋学期（AB モジュール）は、授業を通した学びがより深まったと思うか

3.19 設問 19：時期ごとの学修意欲の度合い（秋学期調査のみ）

各学期での学修が満足する内容であったかを確認することは重要である一方、次の学修に向かうためにも学修意欲がどのように推移しているかも同じくらいに重要である。この観点に立って、春学期の最初の頃、秋学期の最初の頃、秋学期調査の実施時点（「現在」）の 3 時点において、学修意欲の度合いを尋ねた結果が図 27 である。いずれのグループも肯定的な回答（「とてもあった」＋「あった」）が過半数であるが、学群生及び筑波キャンパスの大学院生では肯定的な回答が漸減していく様子が見て取れる。特に「とてもあった」に着目すると、学群生では「春学期の最初の頃」に 35.7%、「秋学期の最初の頃」に 25.1%、秋学期調査の実施時点（「現在」）で 21.6% となり、筑波キャンパスの大学院生では「春学期の最初の頃」に 45.4%、「秋学期の最初の頃」に 37.1%、秋学期調査の実施時点（「現在」）で 34.3% と減少傾向にある。東京キャンパスの大学院生では「とてもあった」の選択肢を選んだ割合が春学期の最初の頃に 58.3% だったのが秋学期の最初の頃には 48.1% になりいったん減少するものの、秋学期調査の実施時点（「現在」）で 50.6% に及んでおり、高い学修意欲があることが認められる。

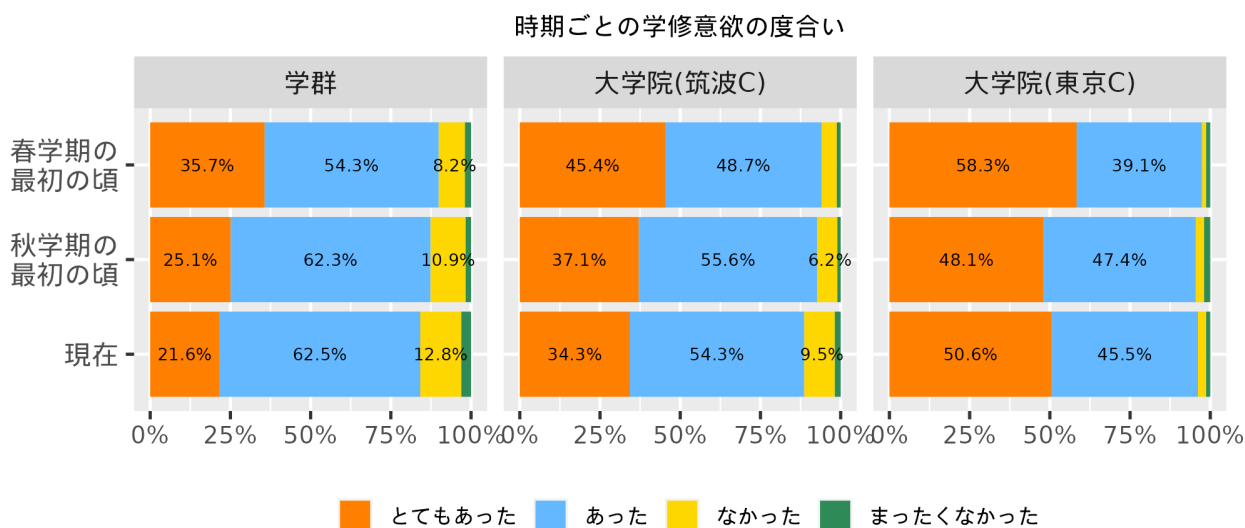


図 27: 時期ごとの学修意欲の度合い

3.20 設問 20：秋学期（AB モジュール）の1か月の通学費用・時間（秋学期調査のみ）

設問 14 で尋ねた「主な住まい」の設問を踏まえつつ、より直接的に居住地によって生じる課題を特定するために、通学負担を費用と時間から尋ねることとした。秋学期における1か月間の通学費用を尋ねた結果が図 28 である。いずれのグループでも「5000 円未満」が多数を占めており、学群生では 78.7%，筑波キャンパスの大学院生では 72.7%，東京キャンパスの大学院生では 55.8% に及び、最多である。一方で、いずれのグループにも「30000 円以上」と答えている者が少数ながら存在しており（いずれのグループでも 5% 以下）、通学費用が高額に至っている者も認められる。

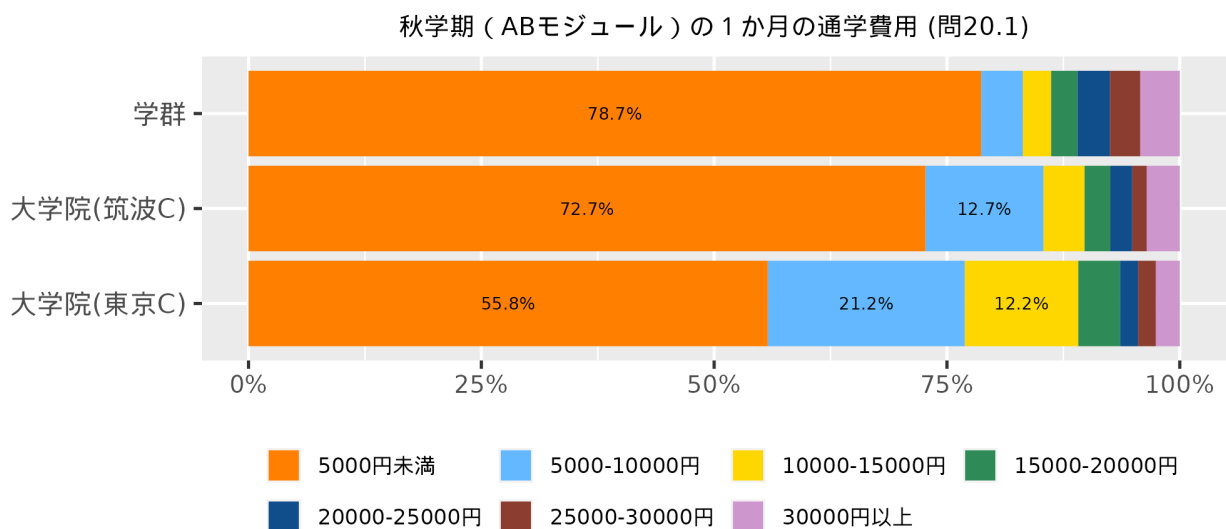


図 28: 秋学期（AB モジュール）の1か月の通学費用

秋学期における1日の片道の通学時間を尋ねた結果が図 29 である。学群生及び筑波キャンパスの大

大学院生では「30分未満」の選択肢が最多となっており、学群生では77.4%、筑波キャンパスの大学院生では68.2%に及ぶ。他方で、東京キャンパスの大学院生では「30分-1時間」が最多であり、32.1%である。いずれのグループにおいても、「1-1.5時間」以上を通学に費やしている者が一定程度いることが見て取れる。

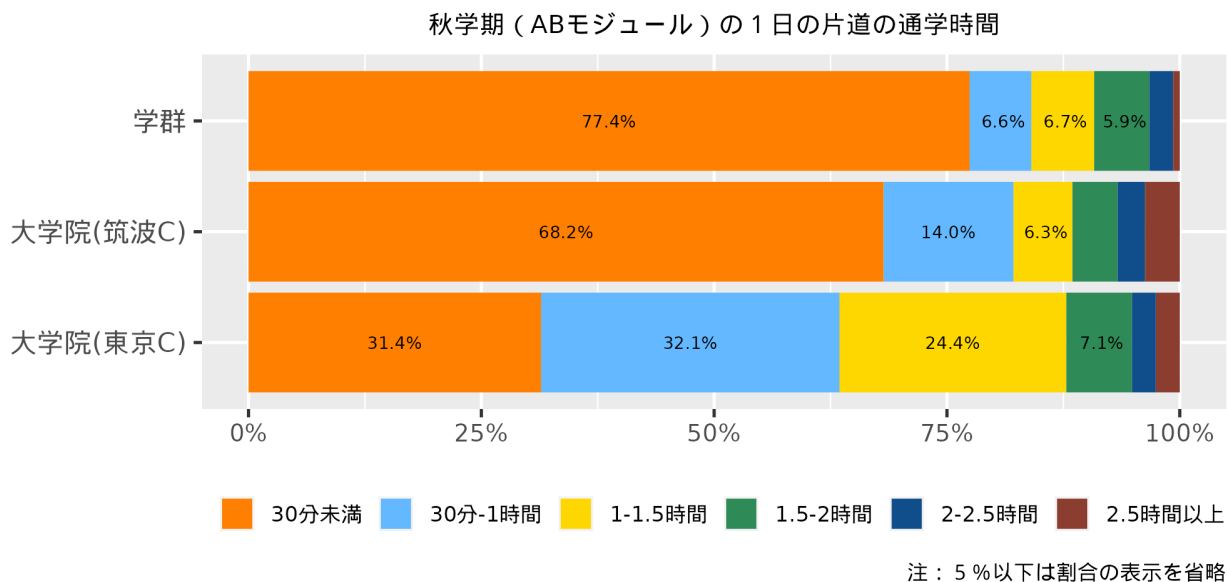


図 29: 秋学期（AB モジュール）の1日の片道の通学時間

4 おわりに

本調査報告書では、令和4年度（2022年度）の春学期・秋学期に提供された授業に関する学修状況等について行った実態調査の結果を示してきた。

2022年度の春学期から秋学期にかけては、対面授業をより提供していくように推奨されたこともあり、学修への取組状況も相応の変化が生じることが予想された。

学修への取組状況の変化は、これまで報告したとおり、「一週間に対面で受けた授業の割合」（設問1）において半分以上が対面授業であった者の割合が大幅に増えたことや「一週間の授業形態別コマ数」（設問3）において対面授業が学群生で増えたこと、「対面授業が増えたか」（設問17）において学群生及び筑波キャンパスの大学院生で「増えた」が最多の選択肢であったことなど、これらの設問への回答に顕れている。

学修の在り方が変われば、意識の面にも波及することが想定されるところだが、上述の学修への取組状況の変化によって、「次学期の対面授業の割合についての希望」（設問2）において学期を追うごとに対面授業を希望する割合が増えたり、「授業の規模や教授法ごとの提供形態の希望」（設問12）において「少人数の講義中心の授業」や「学生のグループワークや議論中心の授業」について対面のみでやってほしいという希望が増えたりしているものと考えられる。

他方で春学期調査と秋学期調査の間で変化しなかったこともあり、「オンライン授業で良かったこと」や「オンライン授業の受講に関して困ったこと」、「対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったこと」、「対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったこと」（設問7～設問10）は回答傾向に大幅な変化は認められなかった。すなわち、各授業形態の持つ利点や欠点への評価は安定して

いる。

対面授業には対面授業の、オンライン授業にはオンライン授業の良さがある。本「調査」が、オンライン授業から対面授業へのシフトが進んだこの時期の学生の行動や意識を捉えたことで、本学が提供する学習環境を前提にしたときの「対面授業には対面授業の、オンライン授業にはオンライン授業の良さ」を写し取り、記録として残すことができたことには一定の意義を認めてもよいものと思われる。

本学では既に「感染防止対策を講じたうえで、『対面授業』を基本と」することになっている（筑波大学、2023、「令和5年度授業の実施について」）。しかし、学生の学修がより充実したものとなるように学習環境を整える観点からは、各学位プログラムが自らの教育目標や教育活動の実態に照らしつつ、対面授業とオンライン授業を組み合わせ効果的に利活用するのを支援することは、変わらず教学マネジメント上の課題である。学位プログラム上の必然からオンライン授業の活用の在り方は決まるが、オンライン授業の活用は結果的に学修の充実という点に留まらない副次的な効果も持ちうる。先述のとおり、学生のなかには多大な費用と時間（設問 20・21）を費やして通っている者もいることから、これらの負担を軽減する可能性も秘めている。このような、学修経験総体を視野にいれたうえでその充実を図る取組は、各学位プログラムの努力というよりも、教学マネジメント室等の全学的な組織が推進すべき事項であろう。

また、今後も何らかのかたちでオンライン授業を取り入れながら授業提供がなされる可能性があることに鑑みれば、定期的な授業改善を可能にするためにも、対面・オンライン双方の教育力向上に資するFDプログラムが準備されることが望ましい。長期的に取り組まれるべき教学マネジメント上の課題のひとつである。

5 付録 A: 調査票

5.1 春学期調査

※個人情報の取り扱いなどについて／Handling of personal information

本アンケート結果は統計的に処理し、個人を特定できるデータは一切公開いたしません。また、本調査の結果が上記の目的以外に使用されることもありません。調査への回答は任意であり、回答内容や回答しないことで不利益を被ることはありません。

なお、本調査は、学習管理システム manaba (統一認証) を利用した調査となるため、調査元の教育推進部では皆さんの個人情報を取得することになりますが、統計処理に必要となる所属、年次等を把握する目的以外で個人を特定できる部分のデータ(学籍番号・氏名)は使用しません。

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」を遵守するとともに、「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則(平成17年法人規則第6号)」及び「国立大学法人筑波大学におけるEU一般データ保護管理規則(GDPR)に基づくプライバシーポリシー(令和3年2月4日学長決定)」に基づき、厳密に取り扱います。

The results of this survey will be statistically processed before publishing, and therefore published data will not contain any data that may lead to the identification of individuals. The results of this survey will only be used by the University of Tsukuba for the above-mentioned purpose. Responses to the survey are voluntary, and you will not be disadvantaged by the content of your responses or by not responding.

This survey will be conducted via the Learning Management System (manaba) which uses the Unified Authentication System, and thus the Department of Educational Promotion administering the survey will have access to your personal information, but will not use any personal identifiable data such as student name/ID number other than for the purpose of statistical processing (data on your affiliation and the number of years enrolled, etc. will be used).

Personal information is completely protected in compliance with the Act on the Protection of Personal Information Held by Incorporated Administrative Agencies, etc. (Act No. 57 of 2003), and pursuant to the University of Tsukuba Regulations on Personal Information (Regulations No. 6 of 2005), and Privacy Policy Based on the General Data Protection Regulation (GDPR) in the University of Tsukuba (Decision by the President of February 4, 2021).

1. 記入の方法などについて／ How to fill in the survey questionnaire

- ① 調査は、全部で19問です。(所要時間は15～30分程度です。)

The survey questionnaire comprises 19 questions in total and will take about 15 to 30 minutes to answer.

- ② 回答は、番号を選ぶ選択方式と、具体的に記述するものがあります。番号選択方式の場合は、該当する番号を選んでください。その他欄等への記述の場合は、指定された欄に入力してください。

Some questions will ask you to choose an answer from multiple options and others are open questions to which you can freely describe your answer. For multiple choice questions, please choose the answer that best applies and click the circle next to it. If you choose the “Others” option, please enter a specific answer in the specified field.

- ③ 2022年度春学期（AB モジュールの期間）における状況を記入してください。

Please answer about the AY2022 spring modules A and B.

- ④ アンケートを途中保存する場合は、アンケートページ内の「中断」のボタンを押してください。

When you want to save your answers and return later to finish the rest, press the “Save and Quit” button on the questionnaire page.

2. 提出期間／Submission period

令和4年7月12日（火）～令和4年8月10日（水）

Tuesday, July 12, 2022 – Wednesday, August 10, 2022

3. ご質問・ご意見等の問合せ先／Inquiries

調査元：教育推進部教育機構支援課／教学マネジメント室

Survey administrator: Division of Educational Reform Support, Department of Educational Promotion/Office of Management for Teaching and Learning

Email: gm.kkikakugrp@un.tsukuba.ac.jp

設問1 春学期（AB モジュール）の平均的な一週間の授業において、あなたが対面で受けた授業の割合はどのくらいでしたか。選択肢の中から近い数字を選んでください。
※必須

Question 1 In an average week of classes during the AY2022 spring modules A and B, what percentage of classes you took face-to-face? (Include any classes you attended face-to-face in a combination of face-to-face and on-demand sessions) Please choose the number which is closest to your choice. *Mandatory question

1. 100%対面授業だった／100% face-to-face classes
2. 75%程度対面授業だった／About 75% face-to-face classes
3. 50%程度対面授業だった／About 50% face-to-face classes
4. 25%程度対面授業だった／About 25% face-to-face classes
5. 0%対面授業だった（すべてオンライン）／0% face-to-face (all online)
6. ひとつも授業を履修しなかった／ Did not take any classes

設問2 秋学期の対面授業の割合はどのくらいになってほしいですか。選択肢の中から近い数字を選んでください。※必須

Question 2 What percentage of face-to-face classes would you like to see in the fall semester? Please choose the number closest to your choice. *Mandatory question

1. 100%対面授業であってほしい／100% face-to-face classes
2. 75%程度対面授業であってほしい／About 75% face-to-face classes
3. 50%程度対面授業であってほしい／About 50% face-to-face classes
4. 25%程度対面授業であってほしい／About 25% face-to-face classes
5. 0%対面授業であってほしい(すべてオンライン)／0% face-to-face (all online)
6. 授業を履修する予定がない／Do not plan to take any classes

設問3 春学期に受講した授業について更に詳しくお聞きします。春学期(AB モジュール)の平均的な一週間のうち、以下の形態で受けた授業はそれぞれ何コマありましたか。2時限連続の授業や週に2回開講される授業は2コマとしてカウントしてください。※必須

Question 3 We would like to ask you more about the classes you took during the spring semester. In an average week of classes during the AY2022 spring modules A and B, how many classes were offered in each of the following forms? Classes that run for two consecutive periods or are offered twice a week should be counted as two classes. *Mandatory question

項目/Items	コマ数/Classes
①対面授業(オンラインは全くなし) Face-to-face classes (no online at all)	コマ Class/Classes
②オンライン授業(Teams や Zoom 等を用いた同時双方向型) Online classes (simultaneous interactive using Teams, Zoom, etc.)	コマ Class/Classes
③オンライン授業(オンデマンド型) Online classes (on-demand)	コマ Class/Classes
④対面授業とオンライン授業の組合せ Combination of face-to-face and online classes	コマ Class/Classes
⑤その他 Others	コマ Class/Classes

設問4 春学期(ABモジュール)のオンライン授業の視聴・参加について、最も使用したツールを一つだけ選んでください。※必須

Question 4 Choose one device that you used most often to view/participate in online classes during the AY2022 spring modules A and B. *Mandatory question

1. デスクトップパソコン/Desktop PC
2. ノートパソコン/Notebook PC/Laptop
3. スマートフォン/Smartphone
4. タブレット端末(iPad等)/Tablet terminal(iPad, etc.)
5. その他/Others

設問5 春学期(ABモジュール)に履修する授業を選ぶにあたって、授業に関する情報をどのように取得していましたか。活用していたものをすべて選んでください。(複数選択可)※必須

Question 5 How did you obtain information about your classes in choosing which classes to take in the AY2022 spring modules A and B? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 担当教員からの通知や担当教員への問合せ/Notification from or inquiry to the faculty member in charge
2. 友人から/From friends
3. 先輩から/From seniors
4. manaba
5. TWINS 掲示板/TWINS bulletin board
6. シラバス(KdB)/Syllabus(KdB)
7. SNS /Social Networking Service
8. その他/Others

設問6 春学期(ABモジュール)の間、受講している授業に関する情報をどのように取得していましたか。活用していたものをすべて選んでください。(複数選択可)※必須

Question 6 During the AY2022 spring modules A and B, how did you obtain information about the courses you were taking? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 担当教員からの通知や担当教員への問合せ/Notification from or inquiry to the faculty member in charge
2. 同じ授業の受講生から/From students in the same class

3. manaba
4. Microsoft Teams
5. TWINS 掲示板/TWINS bulletin board
6. SNS/Social Networking Service
7. その他/Others

設問7 オンライン授業で良かったと思うことをすべて選んでください。(複数選択可)
※必須

Question 7 Tell us about what you thought was good about online classes. Mark all that apply.
*Mandatory question

1. コンピュータやオンラインのツールについて知識やスキルが高まった/
Improving knowledge and skills for using the computer and online tools
2. 場所を選ばず学習できた/Learning in any location
3. 教室より集中できた/More concentrated than in the classroom
4. 復習が何度もできた/Reviewing classes many times
5. 教材が分かりやすかった/Easy-to-understand learning materials
6. 教員に質問がしやすかった/Convenient to ask questions to the course instructors
7. 自分のペースで学習できた/Learning at your own pace
8. 主体的に学修できた/Learning on your own initiative
9. 特に良かったと思うことはない/Nothing in particular
10. その他/Others

設問8 オンライン授業の受講に関して困ったことをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 8 Did you experience any difficulties when participating in online classes? Mark all that apply. *Mandatory question

1. パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた/Felt tired to look at the PC/smartphone screen for long time
2. パソコンやスマートフォンの端末環境が悪かった/Poor PC/smartphone environment
3. インターネット環境が悪かった/Poor Internet environment
4. プリンタが使えないことで苦労した/Printer was not available
5. 学修に集中できる環境が準備できなかった/Could not prepare an environment to

concentrate for learning

6. 授業ごとに使用されるツールが異なるためついていくのが難しかった／Difficult to follow each class by using different tools
7. 教員への質問がしにくかった／Inconvenient to ask questions to the course instructors
8. 授業に関する友人との情報交換ができなかった／Unable to exchange information about the class with classmates
9. 教材が分かりにくかった／Hard-to-understand learning materials
10. 資料のみが配付され動画や音声での解説が不十分な授業があった／Materials with insufficient video or audio explanations
11. ノートテイクなどが間に合わず時間通りに終わらなかった／Not enough time to take notes to finish on time
12. 課題が多かった／Too many assignments
13. 勉強のペースがつかみにくかった／Difficult to keep up with pace of studying
14. 主体的に学修できなかった／Could not learn independently
15. 特に困ったことはない／Nothing in particular
16. その他／Others

設問9 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったと思うことをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 9 Please choose everything you liked about taking face-to-face classes compared to online classes. Mark all that apply. *Mandatory question

1. 講義内容を理解しやすかった／Easy to understand the lectures
2. 教員に質問がしやすかった／Convenient to ask questions to the course instructors
3. 他の受講生との授業内での議論がしやすかった／Easy to have in-class discussions with classmates
4. 友人と授業に関する情報交換がしやすかった／Easy to exchange information about the class with classmates
5. ノートテイクがしやすかった／Easy to take notes
6. 学修に集中しやすかった／More concentrated than taking online classes
7. ネットの環境を心配する必要から解放された／Free from worrying about the Internet environment
8. 主体的に学修できた／Learning on your own initiative
9. 特によかったと思うことはない／Nothing in particular
10. その他／Others

設問10 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったことをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 10 What are some of the problems you have had with taking face-to-face classes compared to online classes? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 通学時間がかかった／Commuting time
2. 通学費用がかかった／Commuting cost
3. 講義を繰り返し見ることができないので、予習復習がしにくかった／Difficult to prepare for and review the classes by watching them again
4. PCの画面に比べて板書や資料が見にくかった／Difficult to see the board and materials compared to a PC screen
5. キャンパス内の移動に時間がかかった／Took a long time to get around the campus
6. 教員の声が聞き取りづらかった／Difficult to hear the course instructor's voice
7. 教員への質問がしにくかった／Inconvenient to ask questions to the course instructor
8. 授業に集中しづらかった／Hard to concentrate in class
9. 授業や通学のときに感染の不安を感じた／Felt anxious about infection when going to class or campus
10. 特に困ったことはない／Nothing in particular
11. その他／Others

設問11 オンライン授業で課される課題の負担感について、次のうち当てはまるものをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 11 How did you feel about the load of assignments given to you through online classes. Mark all that apply. *Mandatory question

1. 課題の数が多いことに負担を感じた／Felt burdened by the number of assignments
2. 個々の課題の内容が重いことに負担を感じた／Felt burdened because each of the assignments required lots of work
3. どのように課題に取り組めばいいかわからないことに負担を感じた／Felt burdened because I didn't know how I should approach the assignments
4. 特に負担は感じなかった／Nothing in particular
5. その他／Others

設問 12 今後、以下の項目の授業はどの形態で実施してほしいですか。最も希望するものを一つだけ選んでください。なお、選択肢における「対面」授業は、十分な感染対策が行われた上で実施されるものと考えてください。※必須

Question 12 In which of the following forms would you like to see the following items taught? Please choose only one that you most prefer. Note that "face-to-face" classes in the options should be considered to be conducted with adequate infection control measures in place.

*Mandatory question

項目/Items	選択肢/Options
①教員による講義中心の授業（大人数） Lecture-based classes (large class sizes)	1. 対面のみでやってほしい/Face-to-face only 2. Zoom や Teams を用いた同時双方向型(オンライン)のみでやってほしい/Only in a simultaneous interactive (online) format using Zoom or Teams 3. 授業動画を視聴するオンデマンド型(オンライン)のみでやってほしい/Only on-demand (online) to view class videos 4. 対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい/Choice between face-to-face and simultaneous interactive sessions 5. 対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてやってほしい/Combination of face-to-face and on-demand sessions 6. その他/Others
②教員による講義中心の授業（少人数） Lecture-based classes (small class sizes)	1. 対面のみでやってほしい/Face-to-face only 2. Zoom や Teams を用いた同時双方向型(オンライン)のみでやってほしい/Only in a simultaneous interactive (online) format using Zoom or Teams 3. 授業動画を視聴するオンデマンド型(オンライン)のみでやってほしい/Only on-demand (online) to view class videos 4. 対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい/Choice between face-to-face and simultaneous interactive sessions

	5. 対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてほしい／Combination of face-to-face and on-demand sessions 6. その他／Others
③学生のグループワークや議論中心の授業（ゼミなどの演習を含む） Group work and discussion-oriented classes (including seminars and other exercises)	1. 対面のみでしてほしい／Face-to-face only 2. Zoom や Teams を用いた同時双方向型（オンライン）のみでしてほしい／Only in a simultaneous interactive (online) format using Zoom or Teams 3. 対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい／Choice between face-to-face and simultaneous interactive sessions 4. 対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてほしい／Combination of face-to-face and on-demand sessions 5. その他／Others

設問13 春学期（AB モジュール）における学生生活においてストレスに感じたことは何でしたか。すべて選んでください（複数選択可）※必須

Question 13 What was the most stressful aspect of your student life during the AY2022 spring modules A and B? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 友人との交流ができなかった／Couldn't interact with friends
2. 教員との交流ができなかった／Couldn't interact with teachers/instructors
3. 職員への質問や相談ができなかった／Couldn't make inquiries to or consult university staff
4. 実験・実習・実技ができなかった／Couldn't do experiments, lab work, practical training, etc.
5. 研究活動に遅れが生じた／Delay in research activities
6. 図書館など大学の施設が使いえなかった／Couldn't access the library and other university facilities
7. 特にストレスは感じなかった／Nothing in particular
8. その他／Others

設問14 春学期 (AB モジュール) は主にどちらにお住まいでしたか。最も該当するものを一つだけ選んでください。※必須

Question 14 Where did you stay mainly during the AY2022 spring modules A and B? Choose one answer that best applies. *Mandatory question

1. 実家 (宿舎やアパートに住む予定は最初からなかった) /Family home (Never planned to live in a dorm or apartment from the beginning)
2. 実家 (宿舎やアパートに住む予定があったが一時的に居住) /Family home (Planned to live in a dormitory or apartment, but temporarily resided)
3. 大学の宿舎 /University student residence halls (dorms)
4. 民間のアパート・下宿 /Privately run facilities (apartments, boarding houses, etc.)
5. その他 /Others

--

設問15 春学期 (AB モジュール) の授業日 (主に平日、東京キャンパスでは土曜日含む) 及び授業のない日 (主に土日・祝日、東京キャンパスでは月曜含む) における平均的な一日の生活時間を教えてください。(合計が24時間となるように回答してください。また、分単位ではなく時間単位で回答してください。) ※必須

Question 15 How did you spend your average weekday (Mostly weekdays, including Saturdays at the Tokyo Campus) and day off (Mainly Saturdays, Sundays and holidays, including Mondays at the Tokyo Campus) during the AY2022 spring modules A and B? Please specify how many hours (not minutes) you spent a day on average for each of the following activities. Make sure the hours will add up to 24 hours a day. *Mandatory question

項目 / Items	授業日 (主に平日、東京キャンパスでは土曜日含む) Weekdays (days with classes, including Saturdays at the Tokyo Campus)	授業のない日 (主に土日・祝日、東京キャンパスでは月曜含む) Days off (Saturdays, Sundays and holidays including Mondays at the Tokyo Campus)
① 授業への出席時間 (オンライン授業の視聴・参加等の時間を含む) Attending classes (including participating online classes and viewing class videos etc.)	時間 / hrs.	時間 / hrs.

②授業の予習・復習・課題 を行う時間 Preparing, reviewing and doing assignments for class (excluding the time you spent viewing class videos)	時間／hrs.	時間／hrs.
③研究活動に関わる時間 (研究室の活動への出席 を含む。) Engaging in research (including time spent participating in your lab's activities)	時間／hrs.	時間／hrs.
④授業と研究以外の自学自 習のための時間 Self-directed study (excluding time spent in relation to class or research activities)	時間／hrs.	時間／hrs.
⑤睡眠時間 Sleep	時間／hrs.	時間／hrs.
⑥部活動、サークル活動 Extracurricular activities	時間／hrs.	時間／hrs.
⑦アルバイト、定職 Part-time/full-time job	時間／hrs.	時間／hrs.
⑧その他の生活に関する時 間(通学、就職活動、趣 味、交友、食事、入浴等 の時間の合計) Doing other things (Total time spent on things other than above, including commuting to campus, job hunting, hobby, socializing with friends, eating, bathing, etc.)	時間／hrs.	時間／hrs.
計／Total	24 時間／24hrs.	24 時間／24hrs.

設問16 春学期（AB モジュール）の授業や学生生活に満足しましたか。※必須

Question 16 Were you satisfied with your classes and student life during the AY2022 spring modules A and B? *Mandatory question

項目／Items	選択肢／Options
①授業／Classes	1. 満足／Satisfied 2. やや満足／Somewhat satisfied 3. どちらでもない／Neither 4. やや不満／Somewhat dissatisfied 5. 不満／Dissatisfied
②学生生活／Student Life	1. 満足／Satisfied 2. やや満足／Somewhat satisfied 3. どちらでもない／Neither 4. やや不満／Somewhat dissatisfied 5. 不満／Dissatisfied

設問17 春学期に受講したオンライン授業のうち良かった授業科目があれば一つだけ教えてください。（オンラインだからこそ良かったものやオンラインであることの難しさを上手く軽減・解消していたものなど、どのような理由でも構いません。なお、本設問はオンライン授業の効果的な実施方法を検討するためのものであり、学生・教員の評価には一切関係しません。）※任意

Question 17 Of all the online classes you participated during the spring semester, choose one course that you thought was good. Any course for any reason is welcome, including a course that was good because it was conducted online or a course that effectively reduced or resolved difficulties of online classes. This question will be used to inform deliberation on how to design effective online classes and will never affect your grade or the faculty evaluation of the classes you took. *Voluntary question

科目番号／Course no. :

科目名／Course name :

教員名／Teacher's name :

具体的に何が良かったかを教えてください。※任意

Could you tell us some details on what was good about the course you answered in Question 17? *Voluntary question

設問18 春学期に受講した対面授業のうち良かった授業科目があれば一つだけ教えてください。(どのような理由でも構いません。なお、本設問は対面授業の効果的な実施方法を検討するためのものであり、学生・教員の評価には一切関係しません。※任意

Question 18 Of all the face-to-face classes you participated during the spring semester, choose one course that you thought was good. Any course for any reason is welcome. This question will be used to inform deliberation on how to design effective online classes and will never affect your grade or the faculty evaluation of the classes you took. *Voluntary question

科目番号/Course no. :

科目名/Course name :

教員名/Teacher's name :

具体的に何が良かったかを教えてください。※任意

Could you tell us some details on what was good about the course you answered in Question 18? *Voluntary question

設問19 秋学期に向けて、大学への要望やご意見があれば自由に記述してください。※任意

Question 19 If you have any requests or ideas for the fall semester, please write it down in the field below. *Voluntary question

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

Thank you for your cooperation.

5.2 秋学期調査

秋学期調査の調査票(令和4年度第7回学群教育会議資料より)

※個人情報の取り扱いなどについて／Handling of personal information

本アンケート結果は統計的に処理し、個人を特定できるデータは一切公開いたしません。また、本調査の結果が上記の目的以外に使用されることもありません。調査への回答は任意であり、回答内容や回答しないことで不利益を被ることはありません。

なお、本調査は、学習管理システム manaba（統一認証）を利用した調査となるため、調査元の教育推進部では皆さんの個人情報を取得することになりますが、統計処理に必要な所属、年次等を把握する目的以外で個人を特定できる部分のデータ（学籍番号・氏名）は使用しません。

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」を遵守するとともに、「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則（令和4年法人規則第17号）」及び「国立大学法人筑波大学におけるEU一般データ保護管理規則（GDPR）に基づくプライバシーポリシー（令和3年2月4日学長決定）」に基づき、厳密に取り扱います。

The results of this survey will be statistically processed before publishing, and therefore published data will not contain any data that may lead to the identification of individuals. The results of this survey will only be used by the University of Tsukuba for the above-mentioned purpose. Responses to the survey are voluntary, and you will not be disadvantaged by the content of your responses or by not responding.

This survey will be conducted via the Learning Management System (manaba) which uses the Unified Authentication System, and thus the Department of Educational Promotion administering the survey will have access to your personal information, but will not use any personal identifiable data such as student name/ID number other than for the purpose of statistical processing (data on your affiliation and the number of years enrolled, etc. will be used).

Personal information is completely protected in compliance with the Act on the Protection of Personal Information Held by Incorporated Administrative Agencies, etc. (Act No. 57 of 2003), and pursuant to the University of Tsukuba Regulations on Personal Information (Regulations No. 17 of 2022), and Privacy Policy Based on the General Data Protection Regulation (GDPR) in the University of Tsukuba (Decision by the President of February 4, 2021).

1. 記入の方法などについて／ How to fill in the survey questionnaire

- ① 調査は、全部で23問です。（所要時間は15～30分程度です。）

The survey questionnaire comprises 23 questions in total and will take about 15 to 30 minutes to answer.

- ② 回答は、番号を選ぶ選択方式と、具体的に記述するものがあります。番号選択方式の場合は、該当する番号を選んでください。その他欄等への記述の場合は、指定された欄に入力してください。

Some questions will ask you to choose an answer from multiple options and others are open questions to which you can freely describe your answer. For multiple choice questions, please choose the answer that best applies and click the circle next to it. If you choose the “Others” option, please enter a specific answer in the specified field.

- ③ 2022年度秋学期（AB モジュールの期間）における状況を記入してください。

Please answer about the AY2022 fall modules A and B.

- ④ アンケートを途中保存する場合は、アンケートページ内の「中断」のボタンを押してください。

When you want to save your answers and return later to finish the rest, press the “Save and Quit” button on the questionnaire page.

2. 提出期間／Submission period

令和4年12月14日（水）～令和5年1月20日（金）

Wednesday, December 14, 2022 – Friday, January 20, 2023

3. ご質問・ご意見等の問合せ先／Inquiries

調査元：教育推進部教育機構支援課／教学マネジメント室

Survey administrator: Division of Educational Reform Support, Department of

Educational Promotion/Office of Management for Teaching and Learning

Email: gm.kkikakugrp@un.tsukuba.ac.jp

設問1 秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間の授業において、あなたが対面で受けた授業の割合はどのくらいでしたか。選択肢の中から近い数字を選んでください。

※必須

Question 1: In an average week of classes during the AY2022 fall modules A and B, what percentage of classes you took face-to-face? (Include any classes you attended face-to-face in a combination of face-to-face and on-demand sessions) Please choose the number which is closest to your choice. *Mandatory question

1. 100%対面授業だった／100% face-to-face classes
2. 75%程度対面授業だった／About 75% face-to-face classes
3. 50%程度対面授業だった／About 50% face-to-face classes
4. 25%程度対面授業だった／About 25% face-to-face classes

5. 0%対面授業だった(すべてオンライン) / 0% face-to-face (all online)
6. ひとつも授業を履修しなかった / Did not take any classes

設問2 次年度の対面授業の割合はどのくらいになってほしいですか。選択肢の中から近い数字を選んでください。※必須

Question 2: What percentage of face-to-face classes would you like to see next academic year? Please choose the number closest to your choice. *Mandatory question

1. 100%対面授業であってほしい / 100% face-to-face classes
2. 75%程度対面授業であってほしい / About 75% face-to-face classes
3. 50%程度対面授業であってほしい / About 50% face-to-face classes
4. 25%程度対面授業であってほしい / About 25% face-to-face classes
5. 0%対面授業であってほしい(すべてオンライン) / 0% face-to-face (all online)
6. 授業を履修する予定がない / Do not plan to take any classes

設問3 秋学期に受講した授業について更に詳しくお聞きします。秋学期(AB モジュール)の平均的な一週間のうち、以下の形態で受けた授業はそれぞれ何コマありましたか。2時限連続の授業や週に2回開講される授業は2コマとしてカウントしてください。※必須

Question 3: We would like to ask you more about the classes you took during the fall semester. In an average week of classes during the AY2022 fall modules A and B, how many classes were offered in each of the following forms? Classes that run for two consecutive periods or are offered twice a week should be counted as two classes. *Mandatory question

項目 / Items	コマ数 / Classes
①対面授業(オンラインは全くなし) Face-to-face classes (no online at all)	コマ Class/Classes
②オンライン授業(Teams や Zoom 等を用いた同時双方向型) Online classes (simultaneous interactive using Teams, Zoom, etc.)	コマ Class/Classes
③オンライン授業(オンデマンド型) Online classes (on-demand)	コマ Class/Classes
④対面授業とオンライン授業の組合せ Combination of face-to-face and online classes	コマ Class/Classes
⑤その他 Others	コマ Class/Classes

設問4 秋学期(ABモジュール)のオンライン授業の視聴・参加について、最も使用したツールを一つだけ選んでください。※必須

Question 4: Choose one device that you used most often to view/participate in online classes during the AY2022 fall modules A and B. *Mandatory question

1. デスクトップパソコン/Desktop PC
2. ノートパソコン/Notebook PC/Laptop
3. スマートフォン/Smartphone
4. タブレット端末(iPad等)/Tablet terminal(iPad, etc.)
5. その他/Others

設問5 秋学期(ABモジュール)に履修する授業を選ぶにあたって、授業に関する情報をどのように取得していましたか。活用していたものをすべて選んでください。(複数選択可)※必須

Question 5: How did you obtain information about your classes in choosing which classes to take in the AY2022 fall modules A and B? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 担当教員からの通知や担当教員への問合せ/Notification from or inquiry to the faculty member in charge
2. 友人から/From friends
3. 先輩から/From seniors
4. manaba
5. TWINS 掲示板/TWINS bulletin board
6. シラバス(KdB)/Syllabus(KdB)
7. SNS/Social Networking Service
8. その他/Others

設問6 秋学期(ABモジュール)の間、受講している授業に関する情報をどのように取得していましたか。活用していたものをすべて選んでください。(複数選択可)※必須

Question 6: During the AY2022 fall modules A and B, how did you obtain information about the courses you were taking? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 担当教員からの通知や担当教員への問合せ/Notification from or inquiry to the faculty member in charge
2. 同じ授業の受講生から/From students in the same class

3. manaba
4. Microsoft Teams
5. TWINS 掲示板/TWINS bulletin board
6. SNS/Social Networking Service
7. その他/Others

設問7 オンライン授業で良かったと思うことをすべて選んでください。(複数選択可)
※必須

Question 7: Tell us about what you thought was good about online classes. Mark all that apply.
*Mandatory question

1. コンピュータやオンラインのツールについて知識やスキルが高まった/
Improving knowledge and skills for using the computer and online tools
2. 場所を選ばず学習できた/Learning in any location
3. 教室より集中できた/More concentrated than in the classroom
4. 復習が何度もできた/Reviewing classes many times
5. 教材が分かりやすかった/Easy-to-understand learning materials
6. 教員に質問がしやすかった/Convenient to ask questions to the course instructors
7. 自分のペースで学習できた/Learning at your own pace
8. 主体的に学修できた/Learning on your own initiative
9. 特に良かったと思うことはない/Nothing in particular
10. その他/Others

設問8 オンライン授業の受講に関して困ったことをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 8: Did you experience any difficulties when participating in online classes? Mark all that apply. *Mandatory question

1. パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた/Felt tired to look at the PC/smartphone screen for long time
2. パソコンやスマートフォンの端末環境が悪かった/Poor PC/smartphone environment
3. インターネット環境が悪かった/Poor Internet environment
4. プリンタが使えないことで苦労した/Printer was not available
5. 学修に集中できる環境が準備できなかった/Could not prepare an environment to

concentrate for learning

6. 授業ごとに使用されるツールが異なるためついていくのが難しかった／Difficult to follow each class by using different tools
7. 教員への質問がしにくかった／Inconvenient to ask questions to the course instructors
8. 授業に関する友人との情報交換ができなかった／Unable to exchange information about the class with classmates
9. 教材が分かりにくかった／Hard-to-understand learning materials
10. 資料のみが配付され動画や音声での解説が不十分な授業があった／Materials with insufficient video or audio explanations
11. ノートテイクなどが間に合わず時間通りに終わらなかった／Not enough time to take notes to finish on time
12. 課題が多かった／Too many assignments
13. 勉強のペースがつかみにくかった／Difficult to keep up with pace of studying
14. 主体的に学修できなかった／Could not learn independently
15. 特に困ったことはない／Nothing in particular
16. その他／Others

設問9 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったと思うことをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 9: Please choose everything you liked about taking face-to-face classes compared to online classes. Mark all that apply. *Mandatory question

1. 講義内容を理解しやすかった／Easy to understand the lectures
2. 教員に質問がしやすかった／Convenient to ask questions to the course instructors
3. 他の受講生との授業内での議論がしやすかった／Easy to have in-class discussions with classmates
4. 友人と授業に関する情報交換がしやすかった／Easy to exchange information about the class with classmates
5. ノートテイクがしやすかった／Easy to take notes
6. 学修に集中しやすかった／More concentrated than taking online classes
7. ネットの環境を心配する必要から解放された／Free from worrying about the Internet environment
8. 主体的に学修できた／Learning on your own initiative
9. 特によかったと思うことはない／Nothing in particular
10. その他／Others

設問10 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったことをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 10: What are some of the problems you have had with taking face-to-face classes compared to online classes? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 通学時間がかかった／Commuting time
2. 通学費用がかかった／Commuting cost
3. 講義を繰り返し見ることができないので、予習復習がしにくかった／Difficult to prepare for and review the classes by watching them again
4. PCの画面に比べて板書や資料が見にくかった／Difficult to see the board and materials compared to a PC screen
5. キャンパス内の移動に時間がかかった／Took a long time to get around the campus
6. 教員の声が聞き取りづらかった／Difficult to hear the course instructor's voice
7. 教員への質問がしにくかった／Inconvenient to ask questions to the course instructor
8. 授業に集中しづらかった／Hard to concentrate in class
9. 授業や通学のときに感染の不安を感じた／Felt anxious about infection when going to class or campus
10. 特に困ったことはない／Nothing in particular
11. その他／Others

設問11 オンライン授業で課される課題の負担感について、次のうち当てはまるものをすべて選んでください。(複数選択可) ※必須

Question 11: How did you feel about the load of assignments given to you through online classes. Mark all that apply. *Mandatory question

1. 課題の数が多いことに負担を感じた／Felt burdened by the number of assignments
2. 個々の課題の内容が重いことに負担を感じた／Felt burdened because each of the assignments required lots of work
3. どのように課題に取り組めばいいか分からないことに負担を感じた／Felt burdened because I didn't know how I should approach the assignments
4. 特に負担は感じなかった／Nothing in particular
5. その他／Others

設問12 今後、以下の項目の授業はどの形態で実施してほしいですか。最も希望するものを一つだけ選んでください。なお、選択肢における「対面」授業は、十分な感染対策が行われた上で実施されるものと考えてください。※必須

Question 12: In which of the following forms would you like to see the following items taught? Please choose only one that you most prefer. Note that "face-to-face" classes in the options should be considered to be conducted with adequate infection control measures in place.

*Mandatory question

項目/Items	選択肢/Options
①教員による講義中心の授業（大人数） Lecture-based classes (large class sizes)	1. 対面のみでやってほしい/Face-to-face only 2. Zoom や Teams を用いた同時双方向型(オンライン)のみでやってほしい/Only in a simultaneous interactive (online) format using Zoom or Teams 3. 授業動画を視聴するオンデマンド型(オンライン)のみでやってほしい/Only on-demand (online) to view class videos 4. 対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい/Choice between face-to-face and simultaneous interactive sessions 5. 対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてやってほしい/Combination of face-to-face and on-demand sessions 6. その他/Others
②教員による講義中心の授業（少人数） Lecture-based classes (small class sizes)	1. 対面のみでやってほしい/Face-to-face only 2. Zoom や Teams を用いた同時双方向型(オンライン)のみでやってほしい/Only in a simultaneous interactive (online) format using Zoom or Teams 3. 授業動画を視聴するオンデマンド型(オンライン)のみでやってほしい/Only on-demand (online) to view class videos 4. 対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい/Choice between face-to-face and simultaneous interactive sessions

	<p>5. 対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてほしい／Combination of face-to-face and on-demand sessions</p> <p>6. その他／Others</p>
<p>③学生のグループワークや議論中心の授業（ゼミなどの演習を含む）</p> <p>Group work and discussion-oriented classes (including seminars and other exercises)</p>	<p>1. 対面のみでしてほしい／Face-to-face only</p> <p>2. Zoom や Teams を用いた同時双方向型（オンライン）のみでしてほしい／Only in a simultaneous interactive (online) format using Zoom or Teams</p> <p>3. 対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい／Choice between face-to-face and simultaneous interactive sessions</p> <p>4. 対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてほしい／Combination of face-to-face and on-demand sessions</p> <p>5. その他／Others</p>

設問13 秋学期（AB モジュール）における学生生活においてストレスに感じたことは何でしたか。すべて選んでください（複数選択可）※必須

Question 13: What was the most stressful aspect of your student life during the AY2022 fall modules A and B? Mark all that apply. *Mandatory question

1. 友人との交流ができなかった／Couldn't interact with friends
2. 教員との交流ができなかった／Couldn't interact with teachers/instructors
3. 職員への質問や相談ができなかった／Couldn't make inquiries to or consult university staff
4. 実験・実習・実技ができなかった／Couldn't do experiments, lab work, practical training, etc.
5. 研究活動に遅れが生じた／Delay in research activities
6. 図書館など大学の施設が使いえなかった／Couldn't access the library and other university facilities
7. 特にストレスは感じなかった／Nothing in particular
8. その他／Others

設問14 秋学期 (AB モジュール) は主にどちらにお住まいでしたか。最も該当するものを一つだけ選んでください。※必須

Question 14: Where did you stay mainly during the AY2022 fall modules A and B? Choose one answer that best applies. *Mandatory question

1. 実家 (宿舎やアパートに住む予定は最初からなかった) /Family home (Never planned to live in a dorm or apartment from the beginning)
2. 実家 (宿舎やアパートに住む予定があったが一時的に居住) /Family home (Planned to live in a dormitory or apartment, but temporarily resided)
3. 大学の宿舎 /University student residence halls (dorms)
4. 民間のアパート・下宿 /Privately run facilities (apartments, boarding houses, etc.)
5. その他 /Others

--

設問15 秋学期 (AB モジュール) の授業日 (主に平日、東京キャンパスでは土曜日含む) 及び授業のない日 (主に土日・祝日、東京キャンパスでは月曜含む) における平均的な一日の生活時間を教えてください。(合計が24時間となるように回答してください。また、分単位ではなく時間単位で回答してください。) ※必須

Question 15: How did you spend your average weekday (Mostly weekdays, including Saturdays at the Tokyo Campus) and day off (Mainly Saturdays, Sundays and holidays, including Mondays at the Tokyo Campus) during the AY2022 fall modules A and B? Please specify how many hours (not minutes) you spent a day on average for each of the following activities. Make sure the hours will add up to 24 hours a day. *Mandatory question

項目 / Items	授業日 (主に平日、東京キャンパスでは土曜日含む) Weekdays (days with classes, including Saturdays at the Tokyo Campus)	授業のない日 (主に土日・祝日、東京キャンパスでは月曜含む) Days off (Saturdays, Sundays and holidays including Mondays at the Tokyo Campus)
① 授業への出席時間 (オンライン授業の視聴・参加等の時間を含む) Attending classes (including participating online classes and viewing class videos etc.)	時間 / hrs.	時間 / hrs.

秋学期調査の調査票(令和4年度第7回学群教育会議資料より)

②授業の予習・復習・課題 を行う時間 Preparing, reviewing and doing assignments for class (excluding the time you spent viewing class videos)	時間/hrs.	時間/hrs.
③研究活動に関わる時間 (研究室の活動への出席 を含む。) Engaging in research (including time spent participating in your lab's activities)	時間/hrs.	時間/hrs.
④授業と研究以外の自学自 習のための時間 Self-directed study (excluding time spent in relation to class or research activities)	時間/hrs.	時間/hrs.
⑤睡眠時間 Sleep	時間/hrs.	時間/hrs.
⑥部活動、サークル活動 Extracurricular activities	時間/hrs.	時間/hrs.
⑦アルバイト、定職 Part-time/full-time job	時間/hrs.	時間/hrs.
⑧その他の生活に関する時 間(通学、就職活動、趣 味、交友、食事、入浴等 の時間の合計) Doing other things (Total time spent on things other than above, including commuting to campus, job hunting, hobby, socializing with friends, eating, bathing, etc.)	時間/hrs.	時間/hrs.
計/Total	24 時間/24hrs.	24 時間/24hrs.

設問16 秋学期(ABモジュール)の授業や学生生活に満足しましたか。※必須

Question 16: Were you satisfied with your classes and student life during the AY2022 fall modules A and B? *Mandatory question

項目/Items	選択肢/Options
①授業/Classes	1. 満足/Satisfied 2. やや満足/Somewhat satisfied 3. どちらでもない/Neither 4. やや不満/Somewhat dissatisfied 5. 不満/Dissatisfied
②学生生活/Student Life	1. 満足/Satisfied 2. やや満足/Somewhat satisfied 3. どちらでもない/Neither 4. やや不満/Somewhat dissatisfied 5. 不満/Dissatisfied

設問17 春学期(ABモジュール)と比べて、秋学期(ABモジュール)は、対面授業が増えましたか。※必須

Question 17: Compared to the spring modules A and B, did you have more face-to-face classes in the fall modules A and B? *Mandatory question

1. 増えた/Increased
2. 変わらない/Unchanged
3. 減った/Decreased
4. 春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった/わからない
/Did not enroll in classes during the spring or fall semester / Don't know

設問18 春学期(ABモジュール)と比べて秋学期(ABモジュール)は、授業を通じた学びがより深まったと思いますか。※必須

Question 18: Compared to the spring modules A and B, did you think you learned more through your classes in the fall modules A and B? *Mandatory question

1. とてもそう思う/Strongly Agree
2. そう思う/Agree
3. そう思わない/Disagree
4. まったくそう思わない/Strongly Disagree
5. 春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった/Did not enroll in classes during the spring or fall semester

設問19 今年度を振り返って、あなたの本学での学修意欲の度合いを、次の時期ごとに教えてください。※必須

Question 19: Looking back on the current academic year, please indicate your level of motivation to study at the University at each of the following time periods. *Mandatory question

項目/Items	選択肢/Options
①春学期の最初の頃/At the beginning of spring semester	1. とてもあった/Very motivated 2. あった/Somewhat motivated 3. なかった/Little motivated 4. まったくなかった/Not motivated at all
②秋学期の最初の頃/At the beginning of fall semester	1. とてもあった/Very motivated 2. あった/Somewhat motivated 3. なかった/Little motivated 4. まったくなかった/Not motivated at all
③現在/Current	1. とてもあった/Very motivated 2. あった/Somewhat motivated 3. なかった/Little motivated 4. まったくなかった/Not motivated at all

設問20 秋学期(ABモジュール)のあなたの通学費用・通学時間についてお聞きます。※必須

Question 20: Please tell us about your commuting costs and time to school for the fall modules A and B.

項目/Items	選択肢/Options
① 1か月の通学費(電車・バス・駐車場・駐輪場料金等)/Monthly commuting expenses (train, bus, parking, bicycle, parking fees, etc.)	1. 5,000円未満/Less than 5,000 yen 2. 5,000円以上 10,000円未満/5,000-10,000 yen 3. 10,000円以上 15,000円未満/10,000-15,000 yen 4. 15,000円以上 20,000円未満/15,000-20,000 yen 5. 20,000円以上 25,000円未満/20,000-25,000 yen 6. 25,000円以上 30,000円未満/25,000-30,000 yen 7. 30,000円以上 35,000円未満/30,000-35,000 yen

秋学期調査の調査票(令和4年度第7回学群教育会議資料より)

	8. 35,000 円以上 40,000 円未満／35,000-40,000 yen 9. 40,000 円以上 45,000 円未満／40,000-45,000 yen 10. 45,000 円以上 50,000 円未満／45,000 yen-50,000 yen 11. 50,000 円以上／More than 50,000 yen
② 1 日の片道の通学時間／One-way commuting time per day	1. 30 分未満／Less than 30 min. 2. 30 分以上 1 時間未満／30-1hr. 3. 1 時間以上 1 時間 30 分未満／1-1.5 hrs. 4. 1 時間 30 分以上 2 時間未満／1.5-2 hrs. 5. 2 時間以上 2 時間 30 分未満／2-2.5 hrs. 6. 2 時間 30 分以上 3 時間未満／2.5-3 hrs. 7. 3 時間以上／More than 3 hrs.

設問 2 1 秋学期に受講したオンライン授業のうち良かった授業科目があれば一つだけ教えてください。(オンラインだからこそ良かったものやオンラインであることの難しさを上手く軽減・解消していたものなど、どのような理由でも構いません。なお、本設問はオンライン授業の効果的な実施方法を検討するためのものであり、学生・教員の評価には一切関係しません。) ※任意

Question 21: Of all the online classes you participated during the fall semester, choose one course that you thought was good. Any course for any reason is welcome, including a course that was good because it was conducted online or a course that effectively reduced or resolved difficulties of online classes. This question will be used to inform deliberation on how to design effective online classes and will never affect your grade or the faculty evaluation of the classes you took. *Voluntary question

科目番号／Course no. :

科目名／Course name :

教員名／Teacher' s name :

具体的に何が良かったかを教えてください。 ※任意

Could you tell us some details on what was good about the course you answered in Question 21? *Voluntary question

設問22 秋学期に受講した対面授業のうち良かった授業科目があれば一つだけ教えてください。(どのような理由でも構いません。なお、本設問は対面授業の効果的な実施方法を検討するためのものであり、学生・教員の評価には一切関係しません。※任意

Question 22: Of all the face-to-face classes you participated during the fall semester, choose one course that you thought was good. Any course for any reason is welcome. This question will be used to inform deliberation on how to design effective online classes and will never affect your grade or the faculty evaluation of the classes you took. *Voluntary question

科目番号/Course no. :

科目名/Course name :

教員名/Teacher's name :

具体的に何が良かったかを教えてください。※任意

Could you tell us some details on what was good about the course you answered in Question 22? *Voluntary question

設問23 次年度に向けて、大学への要望やご意見があれば自由に記述してください。※任意

Question 23: If you have any requests or ideas for the next academic year, please write it down in the field below. *Voluntary question

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

Thank you for your cooperation.

6 付録 B: 単純集計表

表 1: 春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一週間に対面で受けた授業の割合（問 1）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
100 %対面授業だった	74	2.1%	132	7.2%
75 %程度対面授業だった	263	7.6%	484	26.3%
50 %程度対面授業だった	325	9.4%	479	26.0%
25 %程度対面授業だった	2,195	63.7%	653	35.5%
0 %対面授業だった（すべてオンライン）	538	15.6%	56	3.0%
ひとつも授業を履修しなかった	51	1.5%	35	1.9%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院（筑波 C）				
100 %対面授業だった	114	7.3%	178	15.4%
75 %程度対面授業だった	120	7.6%	197	17.1%
50 %程度対面授業だった	170	10.8%	208	18.0%
25 %程度対面授業だった	359	22.9%	169	14.6%
0 %対面授業だった（すべてオンライン）	645	41.1%	220	19.1%
ひとつも授業を履修しなかった	161	10.3%	182	15.8%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
100 %対面授業だった	30	16.1%	17	10.9%
75 %程度対面授業だった	10	5.4%	24	15.4%
50 %程度対面授業だった	25	13.4%	32	20.5%
25 %程度対面授業だった	59	31.7%	31	19.9%
0 %対面授業だった（すべてオンライン）	56	30.1%	39	25.0%
ひとつも授業を履修しなかった	6	3.2%	13	8.3%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 2: 次の学期の対面授業の割合はどのくらいになってほしいか (問 2)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
100 %対面授業	270	7.8%	186	10.1%
75 %程度対面授業	456	13.2%	367	20.0%
50 %程度対面授業	1,078	31.3%	633	34.4%
25 %程度対面授業	942	27.3%	368	20.0%
0 %対面授業 (すべてオンライン)	635	18.4%	188	10.2%
授業を履修する予定がない	65	1.9%	97	5.3%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
100 %対面授業	166	10.6%	178	15.4%
75 %程度対面授業	153	9.8%	148	12.8%
50 %程度対面授業	350	22.3%	256	22.2%
25 %程度対面授業	246	15.7%	107	9.3%
0 %対面授業 (すべてオンライン)	474	30.2%	169	14.6%
授業を履修する予定がない	180	11.5%	296	25.6%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
100 %対面授業	21	11.3%	15	9.6%
75 %程度対面授業	24	12.9%	23	14.7%
50 %程度対面授業	41	22.0%	45	28.8%
25 %程度対面授業	46	24.7%	27	17.3%
0 %対面授業 (すべてオンライン)	49	26.3%	28	17.9%
授業を履修する予定がない	5	2.7%	18	11.5%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 3: 春・秋学期 (AB モジュール) の平均的な一週間の授業形態別コマ数 (問 3)

選択肢	春学期			秋学期		
	下位 25%	中央値	上位 25%	下位 25%	中央値	上位 25%
学群 (春 N=3446, 秋 N=1839)						
対面授業 (オンラインは全くなし)	2	3	5	3	6	9
オンライン授業 (Teams や Zoom 等を用いた同時双方向型)	1	3	4	0	1	2
オンライン授業 (オンデマンド型)	6	11	15	2	5	9
対面授業とオンライン授業の組合せ	1	1	3	0	1	2
その他	1	1	1	0	0	0
大学院 (筑波 C)(春 N=1569, 秋 N=1154)						
対面授業 (オンラインは全くなし)	1	1	2	0	1	2
オンライン授業 (Teams や Zoom 等を用いた同時双方向型)	1	2	3	0	1	2
オンライン授業 (オンデマンド型)	1	2	5	0	0	1
対面授業とオンライン授業の組合せ	1	1	2	0	0	1
その他	1	1	1	0	0	0
大学院 (東京 C)(春 N=186, 秋 N=156)						
対面授業 (オンラインは全くなし)	1	1	3	0	0	2
オンライン授業 (Teams や Zoom 等を用いた同時双方向型)	1	3	6	0	1	2
オンライン授業 (オンデマンド型)	1	1	3	0	0	0
対面授業とオンライン授業の組合せ	1	1	3	0	0	2
その他	1	1	1	0	0	0

Note:

2 時限連続の授業や週に 2 回開催される授業は 2 コマとしてカウント

表 4: 春・秋学期（AB モジュール）のオンライン授業の視聴・参加に最も使用したツール（問 4）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
デスクトップパソコン	374	10.9%	216	11.7%
ノートパソコン	2,869	83.3%	1,465	79.7%
スマートフォン	62	1.8%	52	2.8%
タブレット端末 (iPad 等)	125	3.6%	81	4.4%
その他	16	0.5%	25	1.4%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
デスクトップパソコン	284	18.1%	225	19.5%
ノートパソコン	1,189	75.8%	812	70.4%
スマートフォン	12	0.8%	5	0.4%
タブレット端末 (iPad 等)	35	2.2%	30	2.6%
その他	49	3.1%	82	7.1%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
デスクトップパソコン	23	12.4%	21	13.5%
ノートパソコン	150	80.6%	121	77.6%
スマートフォン	1	0.5%	1	0.6%
タブレット端末 (iPad 等)	4	2.2%	4	2.6%
その他	8	4.3%	9	5.8%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 5: 春・秋学期 (AB モジュール) の履修授業選択にあたっての情報取得方法 (複数選択可) (問 5)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
担当教員からの通知や担当教員への問合せ	659	19.1%	388	21.1%
友人から	1,670	48.5%	902	49.0%
先輩から	1,074	31.2%	442	24.0%
manaba	1,266	36.7%	749	40.7%
TWINS 掲示板	707	20.5%	431	23.4%
シラバス (KdB)	2,711	78.7%	1,334	72.5%
SNS	476	13.8%	192	10.4%
その他	105	3.0%	60	3.3%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
担当教員からの通知や担当教員への問合せ	552	35.2%	438	38.0%
友人から	520	33.1%	322	27.9%
先輩から	516	32.9%	255	22.1%
manaba	558	35.6%	421	36.5%
TWINS 掲示板	427	27.2%	305	26.4%
シラバス (KdB)	891	56.8%	524	45.4%
SNS	23	1.5%	16	1.4%
その他	74	4.7%	75	6.5%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
担当教員からの通知や担当教員への問合せ	71	38.2%	48	30.8%
友人から	60	32.3%	44	28.2%
先輩から	33	17.7%	13	8.3%
manaba	79	42.5%	70	44.9%
TWINS 掲示板	48	25.8%	37	23.7%
シラバス (KdB)	119	64.0%	91	58.3%
SNS	5	2.7%	3	1.9%
その他	11	5.9%	7	4.5%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 6: 春・秋学期（AB モジュール）の間の、受講している授業に関する情報取得方法（複数選択可）
 (問6)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
担当教員からの通知や担当教員への問合せ	1,558	45.2%	864	47.0%
同じ授業の受講生から	1,994	57.9%	1,068	58.1%
manaba	3,074	89.2%	1,601	87.1%
Microsoft Teams	1,348	39.1%	610	33.2%
TWINS 掲示板	759	22.0%	373	20.3%
SNS	509	14.8%	200	10.9%
その他	38	1.1%	30	1.6%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
担当教員からの通知や担当教員への問合せ	763	48.6%	575	49.8%
同じ授業の受講生から	678	43.2%	405	35.1%
manaba	1,137	72.5%	765	66.3%
Microsoft Teams	573	36.5%	281	24.4%
TWINS 掲示板	332	21.2%	234	20.3%
SNS	25	1.6%	21	1.8%
その他	64	4.1%	69	6.0%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
担当教員からの通知や担当教員への問合せ	103	55.4%	77	49.4%
同じ授業の受講生から	91	48.9%	62	39.7%
manaba	148	79.6%	114	73.1%
Microsoft Teams	25	13.4%	17	10.9%
TWINS 掲示板	35	18.8%	22	14.1%
SNS	9	4.8%	5	3.2%
その他	8	4.3%	7	4.5%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 7: オンライン授業で良かったこと (複数選択可) (問 7)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
ツールについて知識やスキルが高まった	1,073	31.1%	484	26.3%
場所を選ばず学習できた	2,774	80.5%	1,450	78.8%
教室より集中できた	767	22.3%	423	23.0%
復習が何度もできた	2,214	64.2%	1,088	59.2%
教材が分かりやすかった	614	17.8%	308	16.7%
教員に質問がしやすかった	282	8.2%	98	5.3%
自分のペースで学習できた	2,941	85.3%	1,462	79.5%
主体的に学修できた	746	21.6%	314	17.1%
特に良かったと思うことはない	90	2.6%	48	2.6%
その他	121	3.5%	38	2.1%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
ツールについて知識やスキルが高まった	422	26.9%	295	25.6%
場所を選ばず学習できた	1,262	80.4%	873	75.6%
教室より集中できた	280	17.8%	174	15.1%
復習が何度もできた	788	50.2%	450	39.0%
教材が分かりやすかった	256	16.3%	143	12.4%
教員に質問がしやすかった	186	11.9%	106	9.2%
自分のペースで学習できた	1,002	63.9%	606	52.5%
主体的に学修できた	340	21.7%	196	17.0%
特に良かったと思うことはない	59	3.8%	73	6.3%
その他	88	5.6%	51	4.4%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
ツールについて知識やスキルが高まった	35	18.8%	30	19.2%
場所を選ばず学習できた	140	75.3%	125	80.1%
教室より集中できた	37	19.9%	20	12.8%
復習が何度もできた	54	29.0%	35	22.4%
教材が分かりやすかった	23	12.4%	9	5.8%
教員に質問がしやすかった	18	9.7%	8	5.1%
自分のペースで学習できた	88	47.3%	57	36.5%
主体的に学修できた	27	14.5%	13	8.3%
特に良かったと思うことはない	6	3.2%	6	3.8%
その他	24	12.9%	13	8.3%

表 7: オンライン授業で良かったこと（複数選択可）（問 7）（続き）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 8: オンライン授業で良かったこと（複数選択可）（問 8）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた	1,415	41.1%	680	37.0%
パソコンやスマートフォンの端末環境が悪かった	315	9.1%	183	10.0%
インターネット環境が悪かった	573	16.6%	366	19.9%
プリンタが使えないことで苦労した	515	14.9%	200	10.9%
学修に集中できる環境が準備できなかった	563	16.3%	237	12.9%
授業ごとに使用されるツールが異なるためついていくのが難しかった	568	16.5%	245	13.3%
教員への質問がしにくかった	870	25.2%	377	20.5%
授業に関する友人との情報交換ができなかった	1,259	36.5%	552	30.0%
教材が分かりにくかった	362	10.5%	164	8.9%
資料のみが配付され動画や音声での解説が不十分な授業があった	851	24.7%	340	18.5%
ノートテイクなどが間に合わず時間通りに終わらなかった	571	16.6%	253	13.8%
課題が多かった	1,319	38.3%	555	30.2%
勉強のペースがつかみにくかった	1,002	29.1%	393	21.4%
主体的に学修できなかった	530	15.4%	225	12.2%
特に困ったことはない	489	14.2%	305	16.6%
その他	122	3.5%	47	2.6%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた	447	28.5%	300	26.0%
パソコンやスマートフォンの端末環境が悪かった	114	7.3%	87	7.5%

表 8: オンライン授業で良かったこと（複数選択可）（問 8）（続き）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
インターネット環境が悪かった	308	19.6%	233	20.2%
プリンタが使えないことで苦労した	110	7.0%	56	4.9%
学修に集中できる環境が準備できなかった	143	9.1%	104	9.0%
授業ごとに使用されるツールが異なるためついていくのが難しかった	136	8.7%	65	5.6%
教員への質問がしにくかった	291	18.5%	169	14.6%
授業に関する友人との情報交換ができなかった	498	31.7%	294	25.5%
教材が分かりにくかった	80	5.1%	38	3.3%
資料のみが配付され動画や音声での解説が不十分な授業があった	163	10.4%	88	7.6%
ノートテイクなどが間に合わず時間通りに終わらなかった	85	5.4%	30	2.6%
課題が多かった	287	18.3%	129	11.2%
勉強のペースがつかみにくかった	139	8.9%	66	5.7%
主体的に学修できなかった	55	3.5%	35	3.0%
特に困ったことはない	399	25.4%	351	30.4%
その他	85	5.4%	55	4.8%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
パソコンやスマートフォンの端末の画面を長時間見ることに疲れた	36	19.4%	36	23.1%
パソコンやスマートフォンの端末環境が悪かった	16	8.6%	14	9.0%
インターネット環境が悪かった	35	18.8%	26	16.7%
プリンタが使えないことで苦労した	11	5.9%	4	2.6%
学修に集中できる環境が準備できなかった	10	5.4%	9	5.8%
授業ごとに使用されるツールが異なるためついていくのが難しかった	8	4.3%	8	5.1%

表 8: オンライン授業で良かったこと（複数選択可）（問 8）（続き）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
教員への質問がしにくかった	37	19.9%	30	19.2%
授業に関する友人との情報交換ができなかった	64	34.4%	57	36.5%
教材が分かりにくかった	3	1.6%	8	5.1%
資料のみが配付され動画や音声での解説が不十分な授業があった	4	2.2%	6	3.8%
ノートテイクなどが間に合わず時間通りに終わらなかった	5	2.7%	1	0.6%
課題が多かった	18	9.7%	5	3.2%
勉強のペースがつかみにくかった	15	8.1%	4	2.6%
主体的に学修できなかった	6	3.2%	3	1.9%
特に困ったことはない	59	31.7%	45	28.8%
その他	13	7.0%	12	7.7%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 9: 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったこと（複数選択可）（問9）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
講義内容を理解しやすかった	867	25.2%	623	33.9%
教員に質問がしやすかった	827	24.0%	482	26.2%
他の受講生との授業内での議論がしやすかった	1,406	40.8%	765	41.6%
友人と授業に関する情報交換がしやすかった	1,745	50.6%	1,008	54.8%
ノートテイクがしやすかった	381	11.1%	268	14.6%
学修に集中しやすかった	1,022	29.7%	629	34.2%
ネットの環境を心配する必要から解放された	418	12.1%	236	12.8%
主体的に学修できた	588	17.1%	323	17.6%
特に良かったと思うことはない	614	17.8%	232	12.6%
その他	166	4.8%	38	2.1%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
講義内容を理解しやすかった	334	21.3%	296	25.6%
教員に質問がしやすかった	501	31.9%	389	33.7%
他の受講生との授業内での議論がしやすかった	651	41.5%	473	41.0%
友人と授業に関する情報交換がしやすかった	623	39.7%	451	39.1%
ノートテイクがしやすかった	169	10.8%	108	9.4%
学修に集中しやすかった	357	22.8%	293	25.4%
ネットの環境を心配する必要から解放された	256	16.3%	178	15.4%
主体的に学修できた	140	8.9%	79	6.8%

表 9: 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて良かったこと（複数選択可）（問 9）（続き）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
特に良かったと思うことはない	325	20.7%	190	16.5%
その他	132	8.4%	80	6.9%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
講義内容を理解しやすかった	52	28.0%	45	28.8%
教員に質問がしやすかった	66	35.5%	59	37.8%
他の受講生との授業内での議論がしやすかった	77	41.4%	67	42.9%
友人と授業に関する情報交換がしやすかった	80	43.0%	73	46.8%
ノートテイクがしやすかった	9	4.8%	8	5.1%
学修に集中しやすかった	38	20.4%	42	26.9%
ネットの環境を心配する必要から解放された	16	8.6%	19	12.2%
主体的に学修できた	17	9.1%	16	10.3%
特に良かったと思うことはない	24	12.9%	24	15.4%
その他	36	19.4%	17	10.9%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 10: 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったこと（複数選択可）（問 10）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
通学時間がかかった	1,671	48.5%	965	52.5%
通学費用がかかった	632	18.3%	334	18.2%
講義を繰り返し見ることができないので、予習復習がしにくかった	1,609	46.7%	965	52.5%
PC の画面に比べて板書や資料が見にくかった	896	26.0%	561	30.5%
キャンパス内の移動に時間がかかった	1,476	42.8%	783	42.6%
教員の声が聞き取りづらかった	568	16.5%	370	20.1%
教員への質問がしにくかった	240	7.0%	121	6.6%
授業に集中しづらかった	430	12.5%	241	13.1%
授業や通学のときに感染の不安を感じた	674	19.6%	284	15.4%
特に困ったことはない	560	16.3%	225	12.2%
その他	178	5.2%	63	3.4%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
通学時間がかかった	750	47.8%	565	49.0%
通学費用がかかった	320	20.4%	236	20.5%
講義を繰り返し見ることができないので、予習復習がしにくかった	545	34.7%	331	28.7%
PC の画面に比べて板書や資料が見にくかった	318	20.3%	201	17.4%
キャンパス内の移動に時間がかかった	437	27.9%	272	23.6%
教員の声が聞き取りづらかった	154	9.8%	95	8.2%
教員への質問がしにくかった	81	5.2%	44	3.8%

表 10: 対面授業の受講に関してオンライン授業と比べて困ったこと（複数選択可）（問 10）（続き）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
授業に集中しづらかった	118	7.5%	53	4.6%
授業や通学のときに感染の不安を感じた	390	24.9%	172	14.9%
特に困ったことはない	350	22.3%	282	24.4%
その他	132	8.4%	75	6.5%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
通学時間がかかった	116	62.4%	87	55.8%
通学費用がかかった	65	34.9%	47	30.1%
講義を繰り返し見ることができないので、予習復習がしにくかった	23	12.4%	20	12.8%
PC の画面に比べて板書や資料が見にくかった	21	11.3%	17	10.9%
キャンパス内の移動に時間がかかった	14	7.5%	11	7.1%
教員の声が聞き取りづらかった	3	1.6%	3	1.9%
教員への質問がしにくかった	4	2.2%	2	1.3%
授業に集中しづらかった	7	3.8%	4	2.6%
授業や通学のときに感染の不安を感じた	47	25.3%	23	14.7%
特に困ったことはない	35	18.8%	38	24.4%
その他	29	15.6%	20	12.8%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 11: オンライン授業で課される課題の負担感（複数選択可）（問 11）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
課題の数が多いことに負担を感じた	1,614	46.8%	719	39.1%
個々の課題の内容が重いことに負担を感じた	1,414	41.0%	651	35.4%
どのように課題に取り組めばいいか分からないことに負担を感じた	1,101	32.0%	434	23.6%
特に負担は感じなかった	933	27.1%	631	34.3%
その他	67	1.9%	24	1.3%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
課題の数が多いことに負担を感じた	420	26.8%	214	18.5%
個々の課題の内容が重いことに負担を感じた	386	24.6%	215	18.6%
どのように課題に取り組めばいいか分からないことに負担を感じた	279	17.8%	171	14.8%
特に負担は感じなかった	773	49.3%	671	58.1%
その他	46	2.9%	46	4.0%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
課題の数が多いことに負担を感じた	35	18.8%	20	12.8%
個々の課題の内容が重いことに負担を感じた	34	18.3%	15	9.6%
どのように課題に取り組めばいいか分からないことに負担を感じた	29	15.6%	19	12.2%
特に負担は感じなかった	108	58.1%	104	66.7%
その他	13	7.0%	8	5.1%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 12: 今後、教員による大人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか (問 12.1)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
対面のみでやってほしい	344	10.0%	224	12.2%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型 (オンライン) のみでやってほしい	86	2.5%	62	3.4%
授業動画を視聴するオンデマンド型 (オンライン) のみでやってほしい	1,753	50.9%	847	46.1%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	660	19.2%	369	20.1%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてやってほしい	525	15.2%	303	16.5%
その他	78	2.3%	34	1.8%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
対面のみでやってほしい	119	7.6%	148	12.8%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型 (オンライン) のみでやってほしい	255	16.3%	196	17.0%
授業動画を視聴するオンデマンド型 (オンライン) のみでやってほしい	583	37.2%	323	28.0%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	366	23.3%	284	24.6%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせさせてやってほしい	213	13.6%	172	14.9%
その他	33	2.1%	31	2.7%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
対面のみでやってほしい	12	6.5%	9	5.8%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型 (オンライン) のみでやってほしい	39	21.0%	30	19.2%
授業動画を視聴するオンデマンド型 (オンライン) のみでやってほしい	25	13.4%	12	7.7%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	82	44.1%	73	46.8%

表 12: 今後、教員による大人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか (問 12.1) (続き)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせたい	17	9.1%	24	15.4%
その他	11	5.9%	8	5.1%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 13: 今後、教員による少人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか (問 12.2)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
対面のみでやってほしい	828	24.0%	557	30.3%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型 (オンライン) のみでやってほしい	180	5.2%	80	4.4%
授業動画を視聴するオンデマンド型 (オンライン) のみでやってほしい	1,046	30.4%	476	25.9%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	720	20.9%	368	20.0%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせでやってほしい	615	17.8%	335	18.2%
その他	57	1.7%	23	1.3%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
対面のみでやってほしい	335	21.4%	323	28.0%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型 (オンライン) のみでやってほしい	281	17.9%	189	16.4%
授業動画を視聴するオンデマンド型 (オンライン) のみでやってほしい	305	19.4%	185	16.0%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	408	26.0%	289	25.0%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせでやってほしい	210	13.4%	142	12.3%
その他	30	1.9%	26	2.3%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
対面のみでやってほしい	31	16.7%	25	16.0%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型 (オンライン) のみでやってほしい	38	20.4%	32	20.5%
授業動画を視聴するオンデマンド型 (オンライン) のみでやってほしい	10	5.4%	2	1.3%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	84	45.2%	75	48.1%

表 13: 今後、教員による少人数の講義中心の授業はどの形態で実施してほしいか (問 12.2) (続き)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせたい	14	7.5%	17	10.9%
その他	9	4.8%	5	3.2%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 14: 今後、学生のグループワークや議論中心の授業（ゼミなどの演習を含む）はどの形態で実施してほしいか（問 12.3）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
対面のみでやってほしい	1,811	52.6%	1,086	59.1%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型（オンライン）のみでやってほしい	402	11.7%	159	8.6%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	723	21.0%	318	17.3%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせでやってほしい	485	14.1%	261	14.2%
その他	25	0.7%	15	0.8%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院（筑波 C）				
対面のみでやってほしい	564	35.9%	472	40.9%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型（オンライン）のみでやってほしい	361	23.0%	229	19.8%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	415	26.4%	285	24.7%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせでやってほしい	211	13.4%	143	12.4%
その他	18	1.1%	25	2.2%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
対面のみでやってほしい	40	21.5%	43	27.6%
Zoom や Teams を用いた同時双方向型（オンライン）のみでやってほしい	33	17.7%	27	17.3%
対面と同時双方向型を選べるようにしてほしい	87	46.8%	59	37.8%
対面の回とオンデマンドの回を組み合わせでやってほしい	18	9.7%	18	11.5%
その他	8	4.3%	9	5.8%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 15: 春・秋学期（AB モジュール）の学生生活においてストレスに感じたこと（複数選択可）（問 13）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
友人との交流ができなかった	1,769	51.3%	561	30.5%
教員との交流ができなかった	771	22.4%	214	11.6%
職員への質問や相談ができなかった	467	13.6%	157	8.5%
実験・実習・実技ができなかった	336	9.8%	100	5.4%
研究活動に遅れが生じた	96	2.8%	75	4.1%
図書館など大学の施設が使いえなかった	265	7.7%	70	3.8%
特にストレスは感じなかった	1,244	36.1%	958	52.1%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院（筑波 C）				
友人との交流ができなかった	578	36.8%	283	24.5%
教員との交流ができなかった	305	19.4%	144	12.5%
職員への質問や相談ができなかった	156	9.9%	77	6.7%
実験・実習・実技ができなかった	157	10.0%	88	7.6%
研究活動に遅れが生じた	339	21.6%	275	23.8%
図書館など大学の施設が使いえなかった	149	9.5%	51	4.4%
特にストレスは感じなかった	612	39.0%	552	47.8%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
友人との交流ができなかった	68	36.6%	43	27.6%
教員との交流ができなかった	54	29.0%	26	16.7%
職員への質問や相談ができなかった	23	12.4%	15	9.6%
実験・実習・実技ができなかった	8	4.3%	5	3.2%
研究活動に遅れが生じた	13	7.0%	19	12.2%
図書館など大学の施設が使いえなかった	27	14.5%	11	7.1%
特にストレスは感じなかった	78	41.9%	82	52.6%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 16: 春・秋学期（AB モジュール）の主な住まい（問 14）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者	割合	回答者	割合
学群				
実家（宿舎やアパートに住む予定は最初からなかった）	741	21.5%	402	21.9%
実家（宿舎やアパートに住む予定があったが一時的に居住）	84	2.4%	43	2.3%
大学の宿舎	664	19.3%	318	17.3%
民間のアパート・下宿	1,939	56.3%	1,063	57.8%
その他	18	0.5%	13	0.7%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院（筑波 C）				
実家（宿舎やアパートに住む予定は最初からなかった）	303	19.3%	233	20.2%
実家（宿舎やアパートに住む予定があったが一時的に居住）	77	4.9%	39	3.4%
大学の宿舎	275	17.5%	216	18.7%
民間のアパート・下宿	863	55.0%	635	55.0%
その他	51	3.3%	31	2.7%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
実家（宿舎やアパートに住む予定は最初からなかった）	92	49.5%	85	54.5%
実家（宿舎やアパートに住む予定があったが一時的に居住）	6	3.2%	3	1.9%
民間のアパート・下宿	72	38.7%	51	32.7%
その他	16	8.6%	12	7.7%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 17: 春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一日の生活時間（問 15）

選択肢	春学期			秋学期		
	下位 25%	中央値	上位 25%	下位 25%	中央値	上位 25%
学群 (春 N=2920, 秋 N=1531)						
授業への出席時間（オンライン授業視聴・参加含む。）	1	3	4	0	2	4
授業の予習・復習・課題を行う時間	1	2	4	1	2	3
研究活動に関わる時間（研究室の活動への出席を含む。）	0	0	0	0	0	0
授業と研究以外の自学自習のための時間	0	0	1	0	0	1
睡眠時間	6	7	8	7	7	8
部活動、サークル活動	0	1	3	0	1	3
アルバイト、定職	0	0	4	0	1	4
その他の生活に関する時間	4	6	8	4	6	8
大学院 (筑波 C)(春 N=1212, 秋 N=870)						
授業への出席時間（オンライン授業視聴・参加含む。）	0	1	3	0	0	2
授業の予習・復習・課題を行う時間	0	2	3	0	1	2
研究活動に関わる時間（研究室の活動への出席を含む。）	2	3	6	2	4	7
授業と研究以外の自学自習のための時間	0	1	2	0	1	2
睡眠時間	6	7	8	6	7	8
部活動、サークル活動	0	0	0	0	0	0
アルバイト、定職	0	0	2	0	0	3
その他の生活に関する時間	4	6	8	3	5	8
大学院 (東京 C)(春 N=138, 秋 N=111)						
授業への出席時間（オンライン授業視聴・参加含む。）	0	2	3	0	1	3
授業の予習・復習・課題を行う時間	1	2	3	0	1	2

表 17: 春・秋学期（AB モジュール）の平均的な一日の生活時間（問 15）（続き）

選択肢	春学期			秋学期		
	下位 25%	中央値	上位 25%	下位 25%	中央値	上位 25%
研究活動に関わる時間（研究室の活動への出席を含む。）	0	1	2	0	1	2
授業と研究以外の自学自習のための時間	0	0	1	0	0	1
睡眠時間	6	6	7	6	6	7
部活動、サークル活動	0	0	0	0	0	0
アルバイト、定職	0	8	9	0	8	9
その他の生活に関する時間	3	5	8	3	5	9

Note:

一日の生活時間の有効回答者数が 24 時間となる学生のデータのみ使用

表 18: 春・秋学期 (AB モジュール) の授業に満足したか (問 16.1)

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者数	割合	回答者数	割合
学群				
満足	798	23.2%	489	26.6%
やや満足	1,572	45.6%	884	48.1%
どちらでもない	686	19.9%	307	16.7%
やや不満	277	8.0%	120	6.5%
不満	113	3.3%	39	2.1%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)				
満足	657	41.9%	505	43.8%
やや満足	596	38.0%	390	33.8%
どちらでもない	249	15.9%	224	19.4%
やや不満	51	3.3%	25	2.2%
不満	16	1.0%	10	0.9%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)				
満足	80	43.0%	71	45.5%
やや満足	78	41.9%	46	29.5%
どちらでもない	23	12.4%	31	19.9%
やや不満	5	2.7%	7	4.5%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 19: 春・秋学期（AB モジュール）の学生生活に満足したか（問 16.2）

選択肢	春学期		秋学期	
	回答者数	割合	回答者数	割合
学群				
満足	795	23.1%	549	29.9%
やや満足	1,228	35.6%	743	40.4%
どちらでもない	739	21.4%	336	18.3%
やや不満	506	14.7%	144	7.8%
不満	178	5.2%	67	3.6%
有効回答者数	3,446	100.0%	1,839	100.0%
大学院（筑波 C）				
満足	531	33.8%	411	35.6%
やや満足	533	34.0%	386	33.4%
どちらでもない	350	22.3%	246	21.3%
やや不満	109	6.9%	75	6.5%
不満	46	2.9%	36	3.1%
有効回答者数	1,569	100.0%	1,154	100.0%
大学院（東京 C）				
満足	54	29.0%	60	38.5%
やや満足	61	32.8%	43	27.6%
どちらでもない	56	30.1%	42	26.9%
やや不満	11	5.9%	8	5.1%
不満	4	2.2%	3	1.9%
有効回答者数	186	100.0%	156	100.0%

表 20: 春学期（AB モジュール）と比べて秋学期（AB モジュール）は対面授業が増えたか（問 17）

選択肢	回答者数	割合
学群		
増えた	1,388	75.5%
変わらない	329	17.9%
減った	44	2.4%
春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった/わからない	78	4.2%
有効回答者数	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)		
増えた	474	41.1%
変わらない	401	34.7%
減った	48	4.2%
春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった/わからない	231	20.0%
有効回答者数	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)		
増えた	49	31.4%
変わらない	81	51.9%
減った	8	5.1%
春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった/わからない	18	11.5%
有効回答者数	156	100.0%

表 21: 春学期 (AB モジュール) と比べて秋学期 (AB モジュール) は、授業を通した学びがより深まったと思うか (問 18)

選択肢	回答者数	割合
学群		
とてもそう思う	257	14.0%
そう思う	1,089	59.2%
そう思わない	356	19.4%
まったくそう思わない	66	3.6%
春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった	71	3.9%
有効回答者数	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)		
とてもそう思う	160	13.9%
そう思う	519	45.0%
そう思わない	214	18.5%
まったくそう思わない	15	1.3%
春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった	246	21.3%
有効回答者数	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)		
とてもそう思う	23	14.7%
そう思う	92	59.0%
そう思わない	22	14.1%
まったくそう思わない	3	1.9%
春学期もしくは秋学期に授業を履修しなかった	16	10.3%
有効回答者数	156	100.0%

表 22: 時期ごとの学修意欲の度合い (問 19)

選択肢	春学期の最初		秋学期の最初		現在	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
学群						
とてもあった	656	35.7%	461	25.1%	398	21.6%
あった	998	54.3%	1,146	62.3%	1,150	62.5%
なかった	150	8.2%	201	10.9%	235	12.8%
まったくなかった	35	1.9%	31	1.7%	56	3.0%
有効回答者数	1,839	100.0%	1,839	100.0%	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)						
とてもあった	524	45.4%	428	37.1%	396	34.3%
あった	562	48.7%	642	55.6%	627	54.3%
なかった	54	4.7%	72	6.2%	110	9.5%
まったくなかった	14	1.2%	12	1.0%	21	1.8%
有効回答者数	1,154	100.0%	1,154	100.0%	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)						
とてもあった	91	58.3%	75	48.1%	79	50.6%
あった	61	39.1%	74	47.4%	71	45.5%
なかった	2	1.3%	4	2.6%	4	2.6%
まったくなかった	2	1.3%	3	1.9%	2	1.3%
有効回答者数	156	100.0%	156	100.0%	156	100.0%

表 23: 秋学期 (AB モジュール) の 1 か月の通学費用 (問 20.2)

選択肢	回答者数	割合
学群		
5000 円未満	1,447	78.7%
5000-10000 円	82	4.5%
10000-15000 円	56	3.0%
15000-20000 円	52	2.8%
20000-25000 円	64	3.5%
25000-30000 円	60	3.3%
30000 円以上	78	4.2%
有効回答者数	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)		
5000 円未満	839	72.7%
5000-10000 円	146	12.7%
10000-15000 円	51	4.4%
15000-20000 円	32	2.8%
20000-25000 円	27	2.3%
25000-30000 円	18	1.6%
30000 円以上	41	3.6%
有効回答者数	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)		
5000 円未満	87	55.8%
5000-10000 円	33	21.2%
10000-15000 円	19	12.2%
15000-20000 円	7	4.5%
20000-25000 円	3	1.9%
25000-30000 円	3	1.9%
30000 円以上	4	2.6%
有効回答者数	156	100.0%

表 24: 秋学期 (AB モジュール) の 1 日の片道の通学時間 (問 20.2)

選択肢	回答者数	割合
学群		
30 分未満	1,424	77.4%
30 分-1 時間	122	6.6%
1-1.5 時間	124	6.7%
1.5-2 時間	109	5.9%
2-2.5 時間	47	2.6%
2.5 時間以上	13	0.7%
有効回答者数	1,839	100.0%
大学院 (筑波 C)		
30 分未満	787	68.2%
30 分-1 時間	161	14.0%
1-1.5 時間	73	6.3%
1.5-2 時間	56	4.9%
2-2.5 時間	34	2.9%
2.5 時間以上	43	3.7%
有効回答者数	1,154	100.0%
大学院 (東京 C)		
30 分未満	49	31.4%
30 分-1 時間	50	32.1%
1-1.5 時間	38	24.4%
1.5-2 時間	11	7.1%
2-2.5 時間	4	2.6%
2.5 時間以上	4	2.6%
有効回答者数	156	100.0%